

バージョン 1.0

2017 年 6 月発行

Copyright©2017 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

著作権について：

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項：

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示的にも黙示的にも、黙示的保証、商品適格性、または特定目的への適合性を含む、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害（利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中止などを含む）への責任を負いかねます。



この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従います：

- (1) 本装置は有害な干渉を発生しない。および
- (2) 本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる。

米国カリフォルニア州のみ

このマザーボードに採用されたリチウム電池は、カリフォルニア州議会で可決されたベストマネジメントプラクティス (BMP) で規制される有害物質、過塩素酸塩を含んでいます。米国カリフォルニア州でリチウム電池を廃棄する場合は、関連する規制に従って行ってください。

「過塩素酸塩物質 - 特別な処理が適用される場合があります。詳しくは、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください」

ASRock ウェブサイト : <http://www.asrock.com>

オーストラリアのみ

弊社の製品にはオーストラリア消費者法の下で除外できない保証が付いています。購入者は、重大な故障に対しては交換または返金、および、その他の合理的に予見可能な損失または損害に対しては補償を受ける権利を有します。また、製品が許容できる品質を満たさない場合、または、故障が重大な故障にあたらない場合は、購入者は製品を修理または交換する権利を有します。ご不明な点がありましたら ASRock までお問い合わせください：電話番号 +886-2-28965588 内線 123 (標準的な国際通話料金が適用されます)

HDMI™ および HDMI ハイデフィニションマルチメディアインターフェース、ならびに HDMI のロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。





Fatal1ty ストーリー

19才の時には世界チャンピオンのPCゲーマーになるとは思ってもみませんでした。実際、13才のときには、プロのトーナメントでビリヤード競技に参加して、自分よりも高いレベルのプレーヤーを相手に、4～5試合で勝った経験があります。ビリヤードでキャリアを積むことをはじめに考えたこともあります。しかし、若い頃には状況が目覚しく変化します。私の手と目の協調性は大変優れています。そして、数学的理解力もあります（これは、ビデオゲームでは重要な要素になります）。これらの素質から、私はこの分野に進むべくして進んだのです。

プロへの道

ダラスで開催されたCPL（サイバーストリート・プロフェッショナル・リーグ）トーナメントに参加した1999年以来、プロゲーマーとして活動しています。ダラスでは3位に入賞して\$4,000の賞金を受け取りました。米国におけるトッププレーヤーの1人として認知されました。私に関心を持った企業の後援を受けて、私はスウェーデンで世界トップの12人のプレーヤーと対戦しました。そして、負けなしで18ゲームで勝利を収めて優勝しました。こうして、世界ナンバーワンのQuake IIIプレーヤーになりました。2カ月後、私はダラスで世界最高のQuake IIIプレーヤーとしてのタイトルを防衛して、\$40,000の賞金を獲得しました。それ以来、ロサンゼルス、ニューヨーク、セントルイスを始め、シンガポール、韓国、ドイツ、オーストラリア、オランダ、ブラジルなど、世界各地のコンペティションに参加しています。

連勝

まったく異なるファースト・パーソン・シューター(fps)ゲームである「エイリアン・バーサス・プレデター II(Alien vs. Predator II)」で競技して、CPL Winter 2001でその年のCPLチャンピオンのタイトルを防衛した試合で、自分が持つ真のゲーミング技能を展開できたときには本当に嬉しかったです。そのコンペティションで勝利を収めて自動車を賞品として受け取りました。翌年には、アンリアル・トーナメント 2003(Unreal Tournament 2003)で競技して、同じタイトルを獲得し、その年、CPLチャンピオンタイトルを3回獲得した唯一のプレーヤーになりました。毎年、異なるゲームの競技に参加してタイトルを獲得していました。これは、それまで誰も成し得なかったことです。私は自分の成績を大変誇りに思っています。

QuakeCon 2002では、ライバルのZeRo4と対戦しました。この対戦はその年の最も注目された試合の1つでした。この対戦で14対(-1)で大勝しました。クエイクコン2004(Quakecon 2004)のコンペティションでは、数々の難しい試合の後にDalerを破り、ワールドナンバーワンのDoom3チャンピオンとなり、賞金\$25,000を獲得しました。

それ以来、Fatal1tyは、世界中を旅し、世界最高のプレーヤーと対戦して、ニューヨークで開催された2005 CPLワールド・ツアー・チャンピオンシップで優勝賞金\$150,000を受け取るなど、数々の賞金とタイトルを獲得しています。2007年8月には、「比類ないスポーツマンシップを表し、eスポーツを今日まで発展させ、この新しいスポーツを代表するプレーヤーとして、eスポーツを世界各地に普及させることに貢献したこと」が評価されて、ジョンナサン(Johnathan)は、eスポーツ・アワード(eSports-Award)の4年間の歴史で初の功労賞(Lifetime Achievement Award)を受賞しました。

大きく生きる

大きなトーナメントで初めて入賞して以来、私は「プロのサイバースリート」として世界各地を旅しています。また、MTV、ESPN、および、CBS の 60 分間のセグメントなど、数々の国際的なメディアで大きく取り扱われてきました。信じられないほど素晴らしいことです。ビデオゲームを生活の糧にできるのは夢のようです。私は元々スポーツが得意で、ホッケー や フットボールなどのトレーニングに熱心に取り組んでいました。このように訓練を積んできたことは、より良いゲーマーを目指すときに大いに役立ちました。ベストを追求する私の姿勢が、プロになるために必要な扉を開きました。

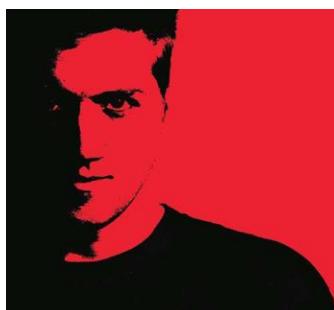
夢

もう一つの夢が実現しました。最高の部品を採用して、自分自身のブランドで、究極のゲーミングコンピュータを設計することです。競技の際にはハードウェアの品質が大きな違いを生み出します。1 秒当たりのフレームが僅かに多いだけで、すべてが上手いくことがあるのです。コンピュータ処理を高速化して、マップ周辺の流動性を向上させることができるのは鍵です。

Fatal1ty ハードウェアの私のビジョンは、ゲーマーが装置を心配せずにゲームに注力できるようにすることです。私は、競技を始めて以来、このビジョンを追求してきました。装置のことで煩わされたくないです。完璧な装置を備えて、ゲームに集中できる条件を整えたいのです。地上で最も高速で最も安定性に優れたコンピュータ装置を目指しました。Fatal1ty ブランド製品の品質にはそれが反映されています。



ジョンナサン「Fatal1ty」ウェンデル
(Johnathan "Fatal1ty" Wendel)



内容

第1章 はじめに	1
1.1 パッケージの内容	1
1.2 仕様	2
1.3 マザーボードのレイアウト	6
1.4 I/O パネル	8
1.5 WiFi-802.11ac モジュールと ASRock WiFi 2.4/5 GHz アンテナ	10
第2章 取り付け	12
2.1 CPUを取り付ける	13
2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける	15
2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付ける	24
2.4 前面パネルヘッダーを接続する	27
2.5 I/O パネルシールドを取り付ける	28
2.6 マザーボードを取り付ける	29
2.7 SATA ドライブを取り付ける	30
2.8 グラフィックスカードを取り付ける	32
2.9 周辺機器を接続する	34
2.10 電源コネクタを接続する	35
2.11 電源オン	36
2.12 ジャンパー設定	37
2.13 オンボードのヘッダーとコネクター	38
第3章 ソフトウェアとユーティリティの操作	46
3.1 ドライバをインストールする	46
3.2 F-Stream	47

3.2.1 F-Stream をインストールする	47
3.2.2 F-Stream を使用する	47
3.3 ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)	50
3.3.1 UI 概要	50
3.3.2 Apps (アプリ)	51
3.3.3 BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)	54
3.3.4 設定	55
3.4 Creative SoundBlaster Cinema3	56
3.5 ASRock RGB LED ユーティリティ	57
第 4 章 UEFI セットアップユーティリティ	58
4.1 はじめに	58
4.1.1 UEFI メニューバー	58
4.1.2 ナビゲーションキー	59
4.2 Main (メイン) 画面	60
4.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面	61
4.4 Advanced (詳細) 画面	63
4.4.1 CPU Configuration (CPU 設定)	64
4.4.2 North Bridge Configuration (ノースブリッジ設定)	65
4.4.3 South Bridge Configuration (サウスブリッジ設定)	66
4.4.4 Storage Configuration (ストレージ設定)	67
4.4.5 Super IO Configuration (スーパー IO 設定)	68
4.4.6 ACPI Configuration (ACPI 設定)	69
4.4.7 AMD PBS	71
4.5 Tools (ツール)	72

4.6	Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルス イベント監視) 画面	74
4.7	Security (セキュリティ) 画面	77
4.8	Boot (ブート) 画面	78
4.9	Exit (終了) 画面	81



第1章 はじめに

ASRock Fatal1ty AB350 Gaming-ITX/ac Series マザーボードをお買い上げ頂きありがとうございます。ASRock の製品は一貫した厳格な品質管理の下で製造されています。優れた品質と耐久性を兼ね備えつつ、優れたパフォーマンスを提供致します。

この文書の第1章と第2章には、マザーボードの説明とステップ毎のインストールガイドが記載されています。第3章には、ソフトウェアヒューティリティーの操作ガイドが含まれています。第4章には、BIOS セットアップの設定ガイドが含まれています。



マザーボードの仕様と BIOS ソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なくアスロックのウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトで参照ください。ASRock のウェブサイトでは、最新の VGA カードおよび CPU サポート一覧もご覧になれます。ASRock ウェブサイト <http://www.asrock.com>。

1.1 パッケージの内容

- ASRock Fatal1ty AB350 Gaming-ITX/ac Series マザーボード(Mini-ITX フォームファクター)
- ASRock Fatal1ty AB350 Gaming-ITX/ac Series クイックインストールガイド
- ASRock Fatal1ty AB350 Gaming-ITX/ac Series サポート CD
- 1 x I/O パネルシールド
- 2 xシリアル ATA (SATA) データケーブル(オプション)
- 2 x ASRock Wi-Fi 2.4/5 GHz アンテナ(オプション)
- 1 x M.2 ソケット用ねじ(オプション)

1.2 仕様

プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">ミニ ITX フォームファクター2 オンスのコパー製 PCB
CPU	<ul style="list-style-type: none">AMD ソケット AM4 A シリーズ APU(Bristol Ridge)および Ryzen シリーズ CPU(Summit Ridge)に対応デジタル電源設計8 電源フェーズ設計95W の水冷に対応
チップセット	<ul style="list-style-type: none">AMD Promontory B350
メモリ	<ul style="list-style-type: none">デュアルチャンネル DDR4 メモリ機能2 x DDR4 DIMM スロットAMD Ryzen シリーズ CPU は DDR4 3200+(OC)/2933 (OC)/2667/2400/2133 ECC、および、ノン ECC、アンバッファードメモリに対応します *AMD 第 7 世代 A シリーズ APU は DDR4 2400/2133 ECC、および、ノン ECC、アンバッファードメモリに対応します。* <p>* 詳細については、ASRock ウェブサイトのメモリーサポート一覧を参照してください。(http://www.asrock.com/)</p> <p>* DDR4 UDIMM 最大周波数サポートについては 25 ページを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">システムメモリの最大容量:32GBDIMM スロットに 15 μ ゴールドコンタクトを採用
拡張スロット	<p>AMD Ryzen シリーズ CPU</p> <ul style="list-style-type: none">1 x PCI Express 3.0 x16 スロット(PCIE1:x16 モード)* <p>AMD 第 7 世代 A シリーズ APU</p> <ul style="list-style-type: none">1 x PCI Express 3.0 x16 スロット(PCIE1:x8 モード)* <p>* 起動ディスクとして NVMe SSD に対応</p> <ul style="list-style-type: none">1 x 垂直 M.2 ソケット(Key E)、WiFi-802.11ac モジュールがバンドルされています(リア I/O)VGA PCIe スロットに 15 μ ゴールドコンタクトを採用(PCIE1)
グラフィックス	<ul style="list-style-type: none">統合された AMD Radeon™ R シリーズグラフィックス (A シリーズ APU)*

* 実際のサポートは CPU によって異なることがあります

- DirectX 12、Pixel Shader 5.0
- 最大共有メモリ 2GB
- 最大解像度 4K x 2K (4096x2160) @ 24Hz / (3840x2160) @ 30Hz
までの 2 x HDMI に対応
- HDMI ポートでオートリップシンク、ディープカラー (12bpc)、
xvYCC、および、HBR (高ビットレートオーディオ) に対応
(HDMI 対応モニターが必要です)
- HDMI ポートで HDCP に
- HDMI ポートで Full HD 1080p Blu-ray (BD) 再生に対応

オーディオ

- 7.1 CH HD オーディオ、コンテンツプロテクション付き
(Realtek ALC1220 オーディオコーデック)
- プレミアム・ブルーレイ・オーディオ・サポート
- サージ保護に対応
- ニチコン製ファインゴールドシリーズオーディオコンデンサ
- SNR 比 120dB の DAC (差動アンプ搭載)
- Pure Power-In (ピュアパワーイン)
- ダイレクトドライブテクノロジー
- PCB 絶縁シールド
- ライン出力ポートにインピーダンスセンシング装備
- R/L オーディオチャンネル用個別 PCB レイヤ
- ゴールドオーディオジャック
- Creative SoundBlaster Cinema3 に対応

LAN

- ギガビット LAN 10/100/1000 Mb/s
- GigaLAN Intel® I211AT
- Wake-On-LAN (ウェイク オン ラン) に対応
- 雷 / 静電気放電 (ESD) 保護に対応
- エネルギー効率のよいイーサネット 802.3az をサポート
- PXE をサポート

ワイヤレス LAN

- IEEE 802.11a/b/g/n/ac をサポート
- デュアルバンド (2.4/5 GHz) をサポート
- 最高 433 Mbps の高速ワイヤレス接続をサポート
- ブルートゥース 4.2/3.0 + ハイスピードクラス II をサポート

リアパネル I/O

- 2 x アンテナポート
- 1 x PS/2 マウス / キーボードポート
- 2 x HDMI ポート
- 1 x 光 SPDIF 出力ポート
- 2 x USB 2.0 ポート(静電気放電(ESD)保護に対応)
- * 1 x Fatal1ty マウスピート(USB 2.0)が含まれています
- 1 x USB 3.0 Type-A ポート(静電気放電(ESD)保護に対応)
- 1 x USB 3.0 Type-C ポート(静電気放電(ESD)保護に対応)
- 2 x USB 3.0 ポート(静電気放電(ESD)保護に対応)
- LED 付き 1 x RJ-45 LAN ポート(ACT/LINK LED と SPEED LED)
- HD オーディオジャック : リアスピーカー / センター / バス / ラインイン / フロントスピーカー / マイク(ゴールドオーディオジャック)

ストレージ

- 4 x SATA3 6.0 Gb/s コネクタ、RAID(RAID 0、RAID 1、RAID 10)、NCQ、AHCI およびホットプラグ機能に対応
- 1 x ウルトラ M.2 ソケット、タイプ M Key type 2280 M.2 SATA3 6.0 Gb/s モジュール、および、最大 Gen3 x4(32 Gb/s)(Ryzen シリーズ CPU の場合)または最大 Gen3 x2(16 Gb/s)(A シリーズ APU の場合)までの M.2 PCI Express モジュールに対応*
- * 起動ディスクとして NVMe SSD に対応
- * ASRock U.2 キットに対応

コネクタ

- 1 x LPC ヘッダー
- 1 x AMD ファン LED ヘッダー
- 1 x CPU ファンコネクタ(4 ピン)
- * CPU ファンコネクタは最大 1A (12W) の電力の CPU ファンに 対応します。
 - 1 x シャーシファンコネクタ(4 ピン)
 - 1 x シャーシ(オプション) / ウォーターポンプファンコネクタ(4 ピン) (スマートファン速度制御)
- * シャーシ(オプション) / ウォーターポンプファンは最大 1.5A (18W) の出力のウォーターケーブルに対応します。
- * CHA_FAN1/W_PUMP は 3 ピンまたは 4 ピンファンが使用されているかどうかを自動検出できます。
 - 1 x 24 ピン ATX 電源コネクタ
 - 1 x 8 ピン 12V 電源コネクタ(高密度電源コネクタ)
 - 1 x 前面パネルオーディオコネクタ
 - 1 x AMD LED ファン USB ヘッダー

- 1 x USB 2.0 ヘッダー(2つのUSB 2.0 ポートに対応))(静電気放電(ESD)保護に対応)
- 1 x USB 3.0 ヘッダー(2つのUSB 3.0 ポートに対応))(静電気放電(ESD)保護に対応)

BIOS 機能

- AMI UEFI Legal BIOS、GUI サポート付き
- 「プラグアンドプレイ」をサポート
- ACPI 5.1 準拠のウェイクアップイベント
- ジャンパー-freeをサポート
- SMBIOS 2.3 サポート
- CPU、DRAM、PCH 1.05V、PROM 2.5V 複数電圧設定

ハードウェアモニター

- 温度センシング :CPU、シャーシ、シャーシオプション / ウォーターポンプファン
- ファンタコメータ :CPU、シャーシ、シャーシオプション / ウォーターポンプファン
- 静音ファン(CPU 温度に従ってシャーシファン速度を自動調整):CPU、シャーシ、シャーシオプション / ウォーターポンプファン
- ファンマルチ速度制御 :CPU、シャーシ、シャーシオプション / ウォーターポンプファン
- 電圧監視 :+12V、+5V、+3.3V、CPU Vcore

OS

- Microsoft® Windows® 10 64-bit

* 更新された Windows® 10 ドライバについては、ASRock のウェブサイトで詳細をご確認ください :<http://www.asrock.com>

認証

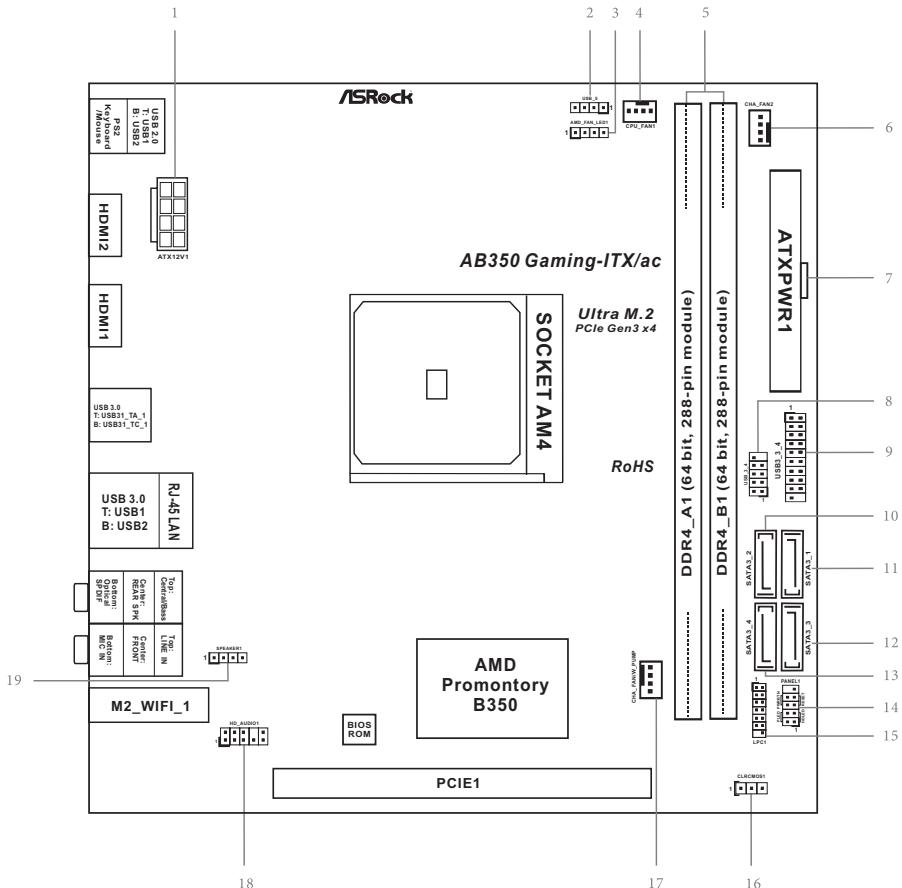
- FCC、CE
- ErP/EuP Ready(ErP/EuP 対応電源供給装置が必要です)

* 商品詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。<http://www.asrock.com>



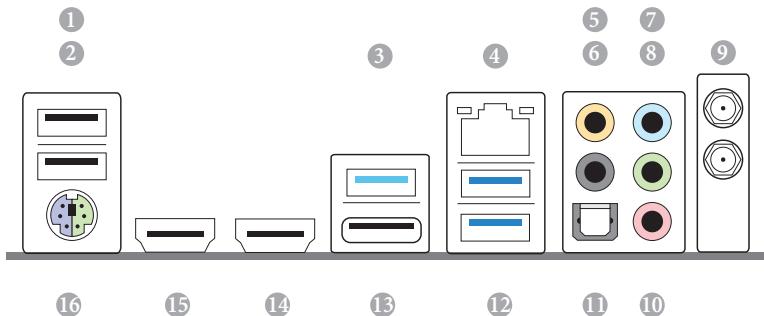
BIOS 設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンポーネントやデバイスが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

1.3 マザーボードのレイアウト



番号	説明
1	ATX 12V 電源コネクタ(ATX12V1)
2	AMD LED ファン USB ヘッダー (USB_5)
3	AMD ファン LED ヘッダー (AMD_FAN_LED1)
4	CPU ファンコネクタ(CPU_FAN1)
5	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット(DDR4_A1,DDR4_B1)
6	シャーシファンコネクタ(CHA_FAN2)
7	ATX 電源コネクタ(ATXPWR1)
8	USB 2.0 ヘッダー(USB_3_4)
9	USB 3.0 ヘッダー(USB3_3_4)
10	SATA3 コネクタ(SATA3_2)
11	SATA3 コネクタ(SATA3_1)
12	SATA3 コネクタ(SATA3_3)
13	SATA3 コネクタ(SATA3_4)
14	システムパネルヘッダー(PANEL1)
15	LPC ヘッダー (LPC1)
16	クリア CMOS ジャンパー(CLRCMOS1)
17	シャーシファン / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN/W_PUMP)
18	フロントパネルオーディオヘッダー(HD_AUDIO1)
19	シャーシスピーカーヘッダー(SPEAKER1)

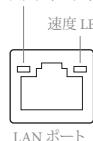
1.4 I/O パネル



番号	説明	番号	説明
1	Fatal1ty マウスポート(USB_1)	9	アンテナポート
2	USB 2.0 ポート(USB_2)	10	マイクロフォン(ピンク色)
3	USB 3.0 ポート(USB31_TA_1)	11	オプティカル SPDIF 出力ポート
4	LAN RJ-45 ポート*	12	USB 3.0 Ports (USB3_12)
5	セントラル / バス(オレンジ色)	13	USB 3.0 Type-C ポート(USB31_TC_1)
6	リアスピーカー(黒色)	14	HDMI ポート
7	ライン入力(明るい青色)	15	HDMI ポート
8	フロントスピーカー(ライム色)**	16	PS/2 マウス / キーボードポート

*各 LAN ポートにそれぞれ 2 つの LED があります。LAN ポートの LED 表示については下の表を参照してください。

アクティビティ / リンク LED



LAN ポート

アクティビティ / リンク LED		速度 LED	
状態	説明	状態	説明
消灯	リンクなし	消灯	10Mbps 接続
点滅	データアクティビティ	オレンジ色	100Mbps 接続
点灯	リンク	緑色	1Gbps 接続

** 2 チャンネルスピーカーを使用する場合は、スピーカーのプラグを「フロントスピーカージャック」に接続してください。使用するスピーカーのタイプに従って、下の表に記載されている接続に関する詳細説明を参照してください。

オーディオ出力 チャンネル	フロントスピー カー (No. 8)	リアスピーカー (No. 6)	セントラル / バ ス (No. 5)	ライン入力 (No. 7)
2	V	--	--	--
4	V	V	--	--
6	V	V	V	--
8	V	V	V	V

1.5 WiFi-802.11ac モジュールと ASRock WiFi 2.4/5 GHz アンテナ

WiFi-802.11ac + BT モジュール

このマザーボードには独自の WiFi 802.11 a/b/g/n/ac + BT v4.2 モジュールが装備されています(背面 I/O パネルに事前に取り付けられています)。WiFi 802.11 a/b/g/n/ac + BT v4.2 モジュールは WiFi 802.11 a/b/g/n/ac 接続規格および Bluetooth v4.2 に対応します。WiFi + BT モジュールは、WiFi + BT に対応する使い易いワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)アダプタです。Bluetooth v4.2 規格には、モバイルデバイスにまったく新しいクラスの機能を追加するスマート・レディ・テクノロジーが採用されています。BT 4.2 にはロー・エネルギー・テクノロジーも採用されており、PC 向けの超低消費電力をお約束します。

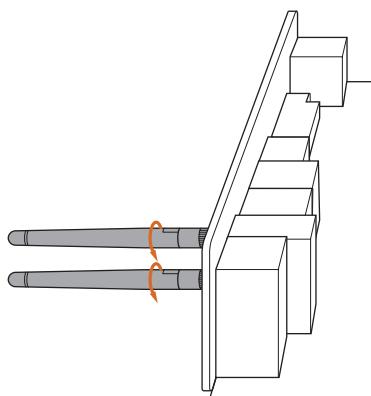
* 伝送速度は環境によって異なることがあります。

WiFi アンテナ取り付けガイド



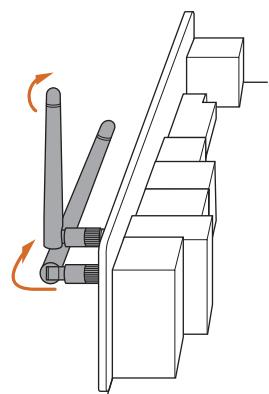
手順1

付属の WiFi 2.4/5 GHz アンテナを準備します。



手順2

2 本の WiFi 2.4/5 GHz アンテナをアンテナコネクタに接続します。アンテナを右方向に回してしっかりと接続します。



手順3

図にあるように WiFi 2.4/5 GHz アンテナを設定します。

- * 信号を強化するためにアンテナの方向を調整する必要があります。

第2章 取り付け

これは Mini-ITX フォームファクタのマザーボードです。マザーボードを取付ける前に、ケースに取付できるフォームファクター(サイズ)を確認し、マザーボードを取り付けることができることを確認してください。

取り付け前の注意事項

マザーボードコンポーネントを取り付けたり、マザーボードの設定を変更する前に、次の注意事項をよくお読みください。

- マザーボードを設置 / 取り外しをする場合は、必ず電源コードが抜いてください。電源コードが繋がれたままで作業を行うと、怪我をしたり、マザーボードが破損する可能性がございます。
- 静電気によってマザーボードの部品が破損することを防止するために、マザーボードはカーペットの上に置かないでください。また、静電気防止リストラップを着用するか、または、部品を取り扱う前に静電気除去オブジェクトに触れてください。
- 基板の端をつかんでください。IC には触れないでください。
- マザーボードを取り外す場合は、取り外したマザーボードを接地した静電気防止パッドの上に置くか、商品に付属している袋に入れてください。
- マザーボードをシャーシに固定する為にねじを使う場合は、ねじを締め付けすぎないでください。ねじを締め付けすぎると、マザーボードが破損することがあります。

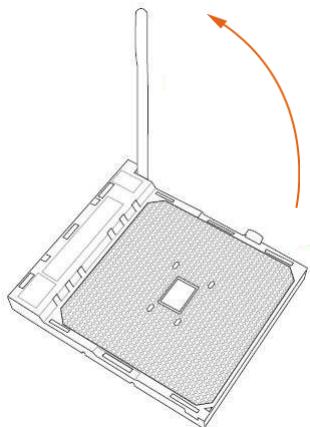
2.1 CPUを取り付ける



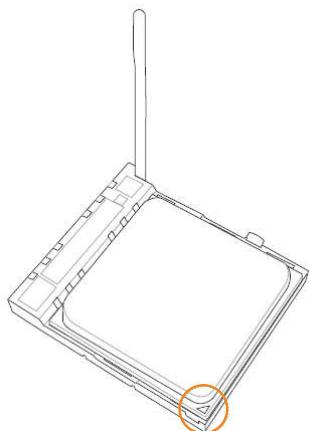
CPUを取り付ける前に、すべての電源ケーブルを取り外してください。

日本語

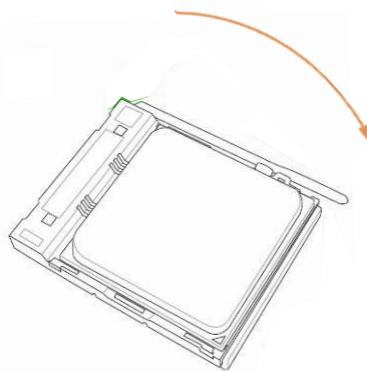
1



2



3



2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける

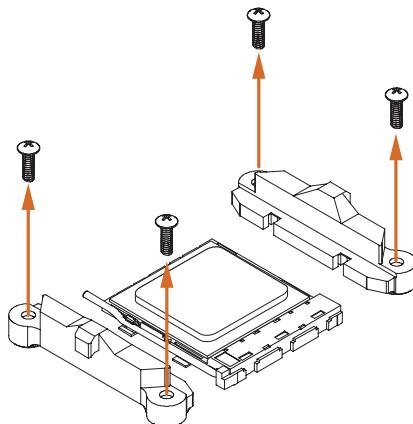
CPU をこのマザーボードに取り付けたら、放熱するために大型のヒートシンクと冷却ファンを取り付ける必要があります。放熱を改善するために、さらに、CPU とヒートシンクの間にサーマルグリースを塗布する必要があります。CPU とヒートシンクがしっかりと固定されており、正しく接触していることを確認してください。



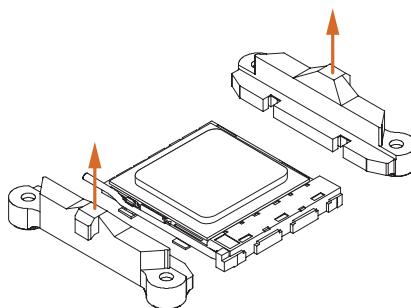
CPU またはヒートシンクを交換する前に、電源を切斷するか、または、電源コードを取り外してください。

CPU ボックススクーラー SR1 を取り付ける

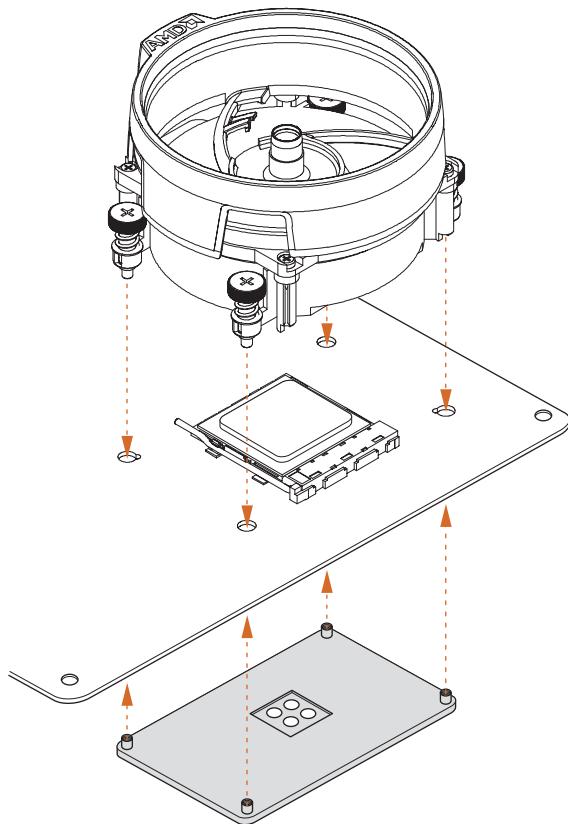
①



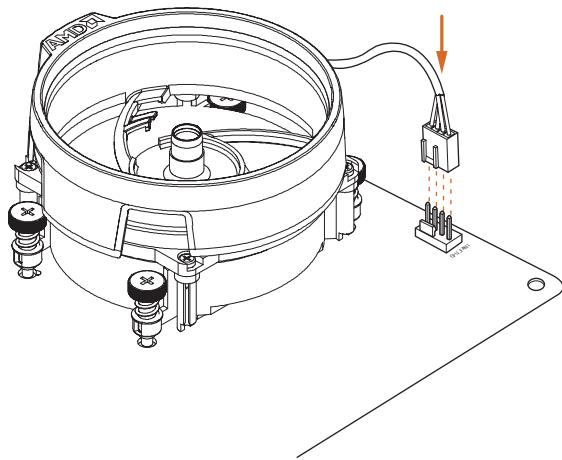
②



3

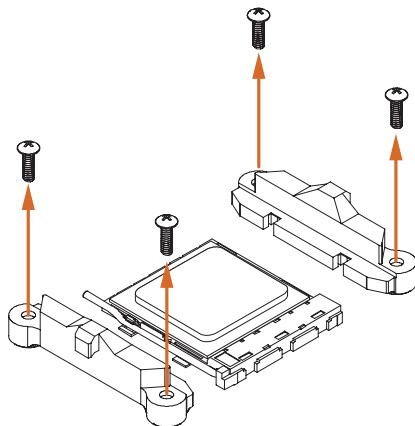


4

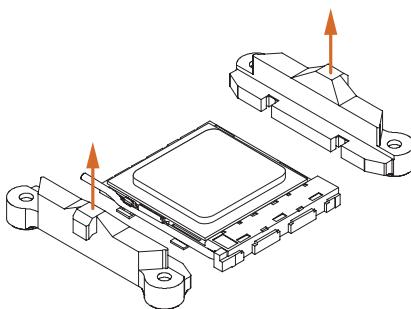


AM4 ボックスクーラー SR2 を取り付ける

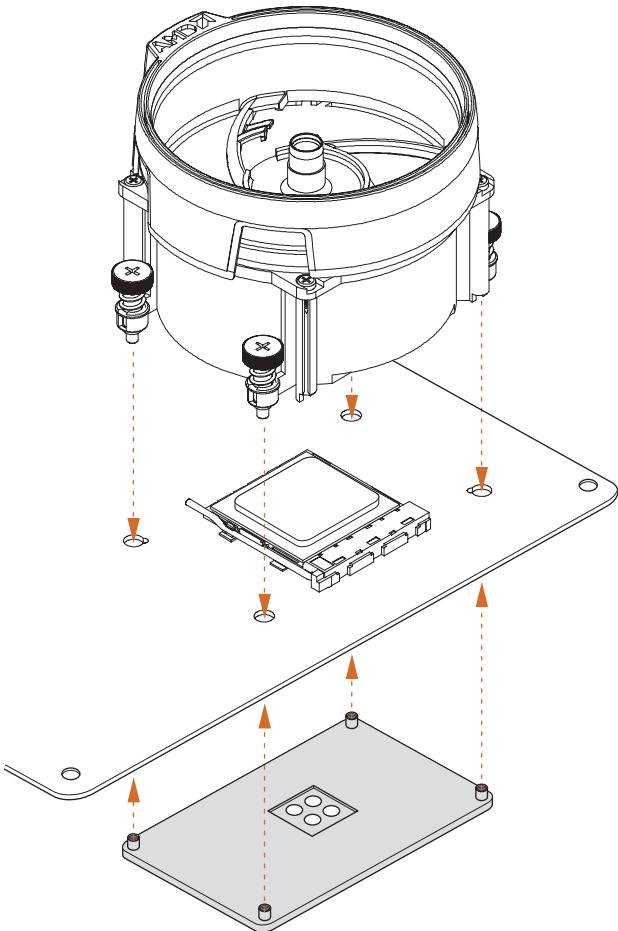
1



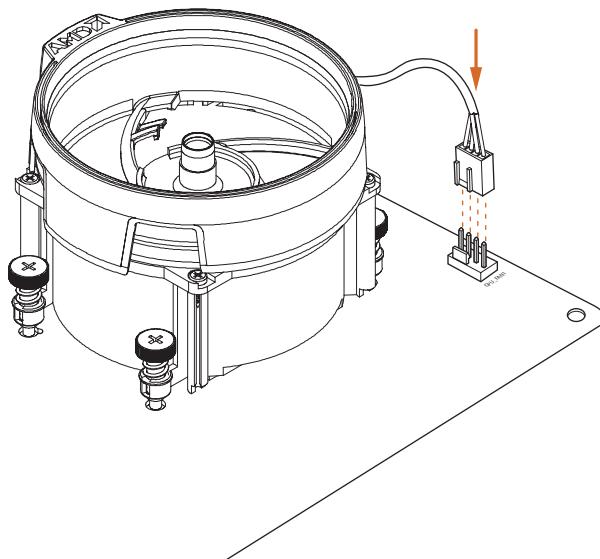
2



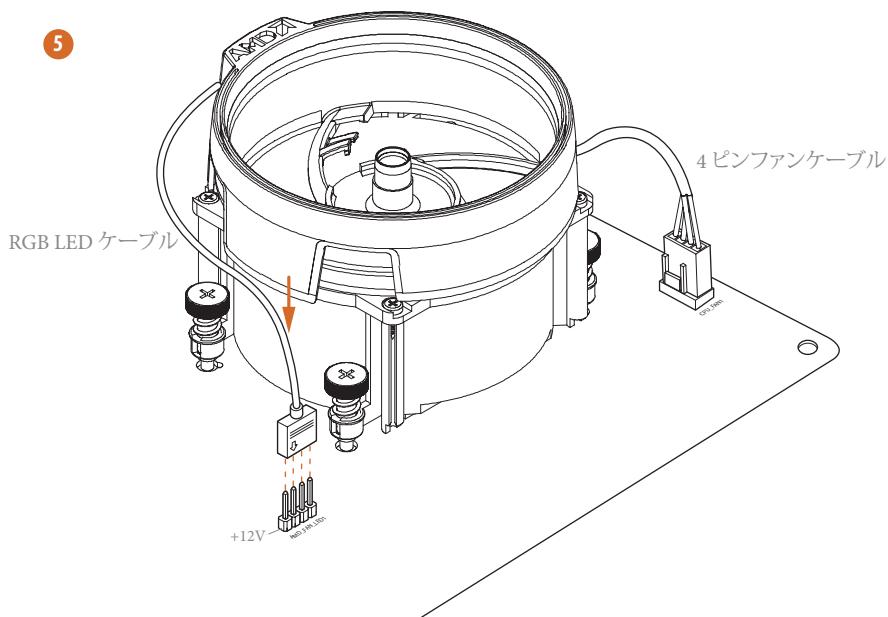
3



4



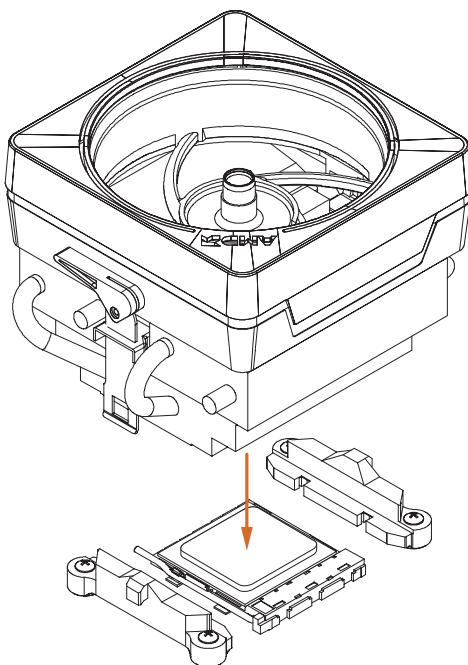
5



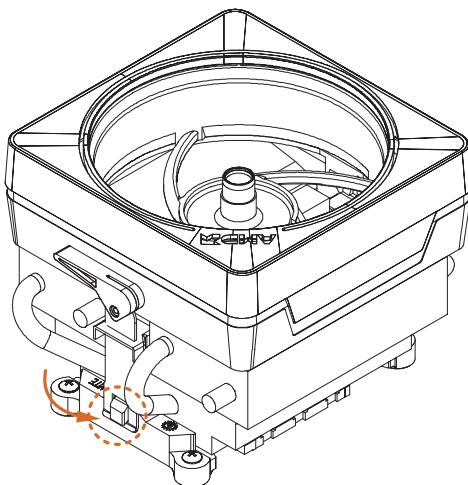
* この図は参考用です。AMD ファン LED ヘッダー (AMD_FAN_LED1) の方向については
45 ページを参照してください。

AM4 ボックスクーラー SR3 を取り付ける

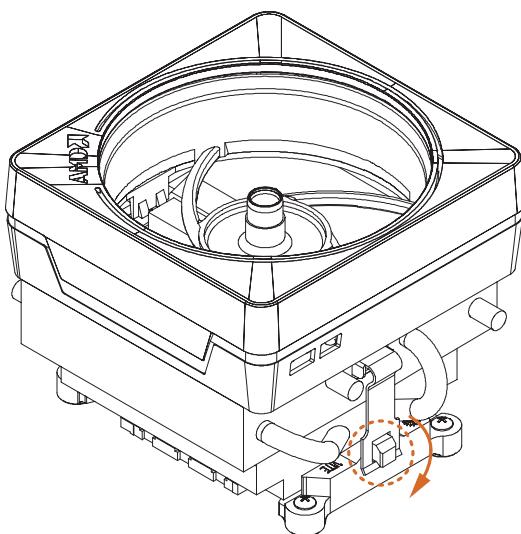
1



2

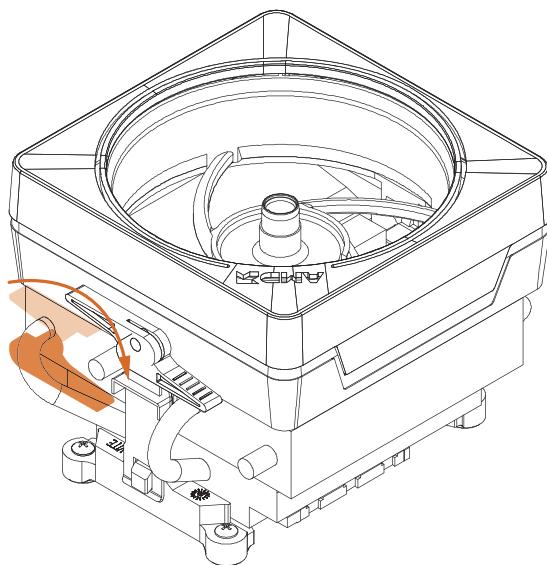


3

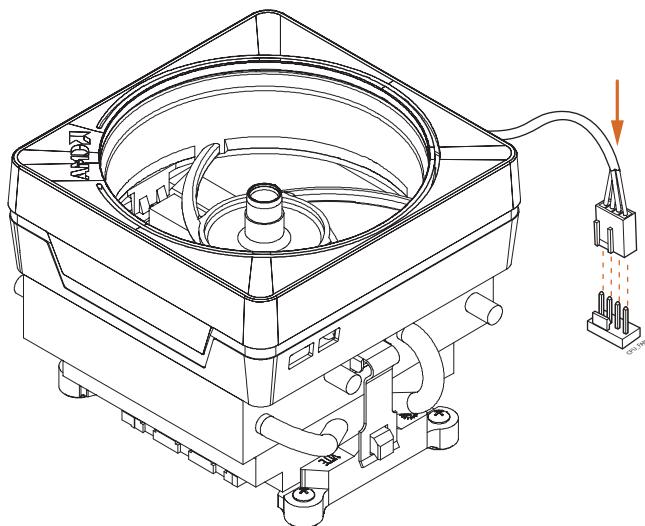


日本語

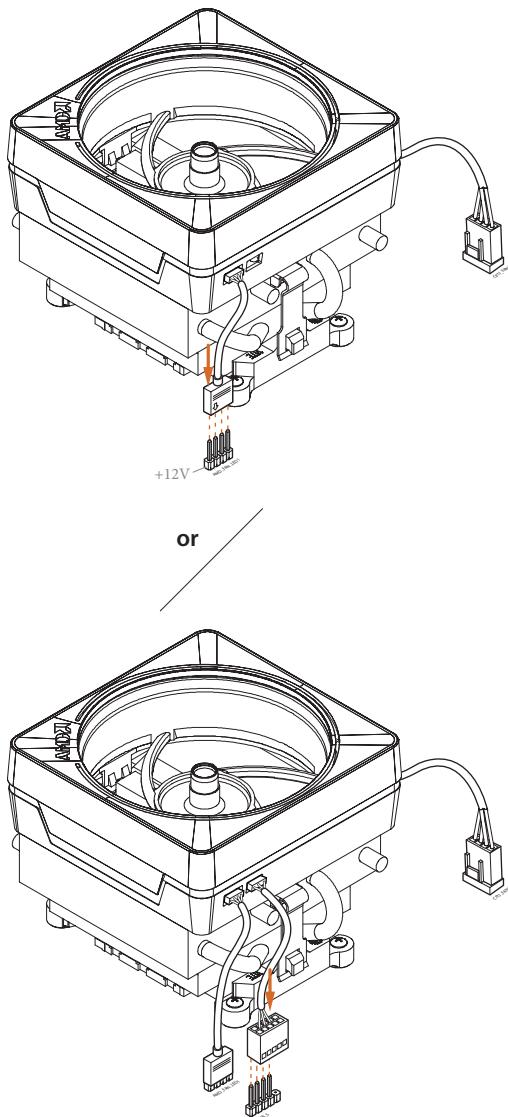
4



5



6



この段階では 1 本のケーブルだけを使用してください。

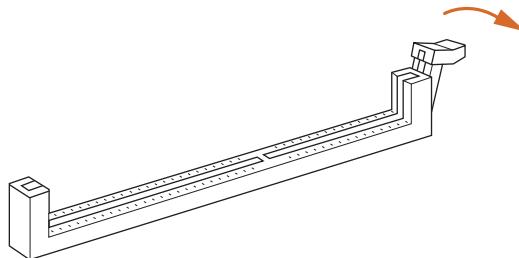
AMD_FAN_LED1 を選択する場合は、ASRock ユーティリティ「ASRock RGB LED」をインストールしてください。

USB コネクタを選択する場合は、ASRock ユーティリティ「SR3 Settings Software (SR3 設定ソフトウェア)」をインストールしてください。

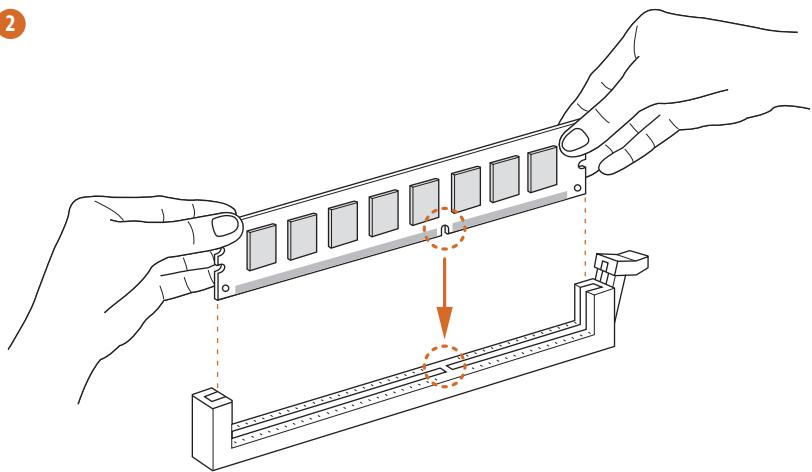
* この図は参考用です。AMD ファン LED ヘッダー (AMD_FAN_LED1) の方向について
は 45 ページを参照してください。AMD LED ファン USB ヘッダー (USB_5) の方向について
は 40 ページを参照してください。

2.3 メモリモジュール(DIMM)を取り付ける

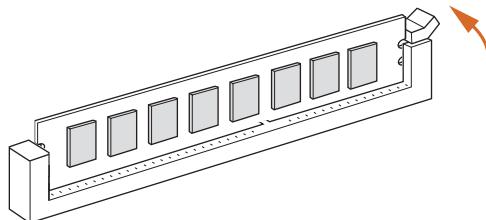
1



2



3



このマザーボードには 2 つの 288 ピン DDR4(ダブルデータレート 4)DIMM スロットが装備されており、デュアルチャンネルメモリ機能に対応します。



1. デュアルチャンネルメモリ設定のために、同一(同じブランド、同じ速度、同じサイズ、同じチップタイプ)の DDR4 DIMM を 1 組取り付ける必要があります。
2. メモリモジュールを 1 基しか取り付けていない場合は、デュアルチャンネルメモリ技術を有効にできません。
3. DDR、DDR2 または DDR3 メモリモジュールは DDR4 スロットに取り付けることはできません。取り付けると、マザーボードと DIMM が損傷することがあります。

DDR4 UDIMM 最大周波数サポート

A シリーズ APU:

UDIMM メモリスロット		周波数 (Mhz)
A1	B1	
-	SR	2400
SR	-	2400
-	DR	2400
DR	-	2400
SR	SR	2400
DR	DR	2400

最大周波数

Ryzen CPU:

UDIMM メモリスロット		周波数 (Mhz)
A1	B1	
-	SR	2667
SR	-	2667
-	DR	2667
DR	-	2667
SR	SR	2667
DR	DR	2667

SR: シングルランク DIMM、1Rx4 または DIMM モジュールラベルの場合は 1Rx8

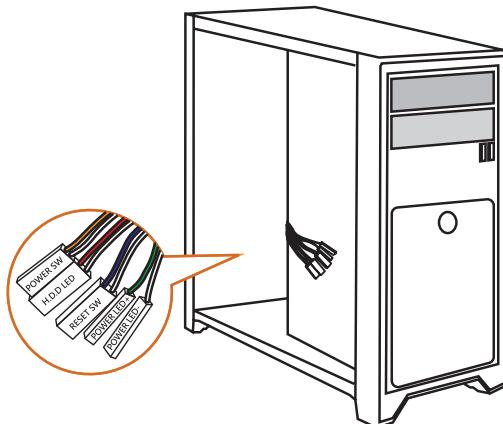
DR: デュアルランク DIMM、2Rx4 または DIMM モジュールラベルの場合は 2Rx8



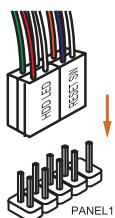
DIMMは1つの正しい方向にしか取り付けることができません。DIMMを間違った方向に無理に挿入すると、マザーボードとDIMMの損傷につながります。

2.4 前面パネルヘッダーを接続する

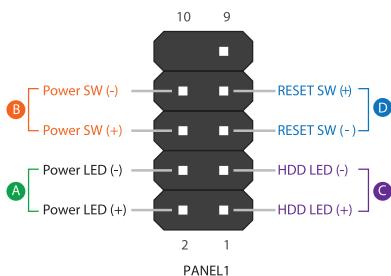
1



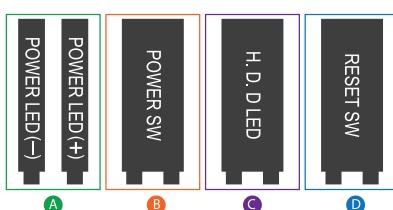
2



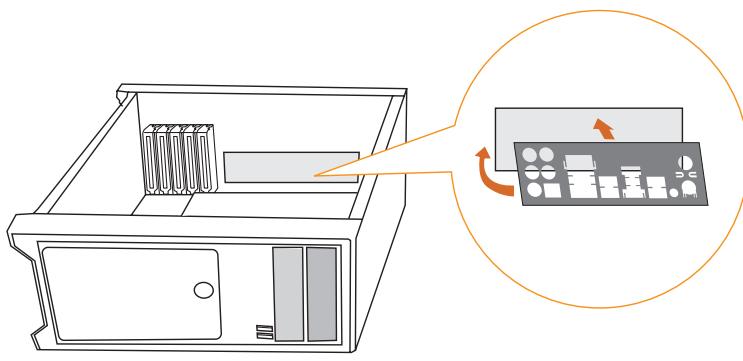
端子側



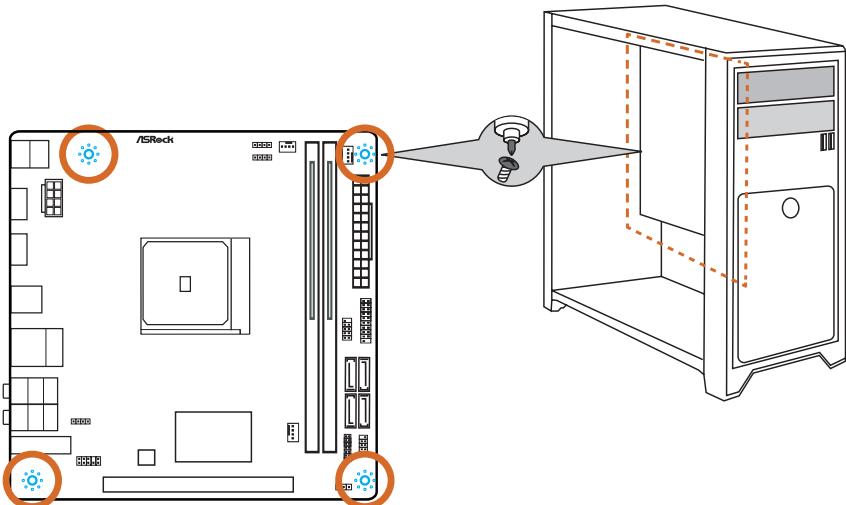
配線側



2.5 I/O パネルシールドを取り付ける

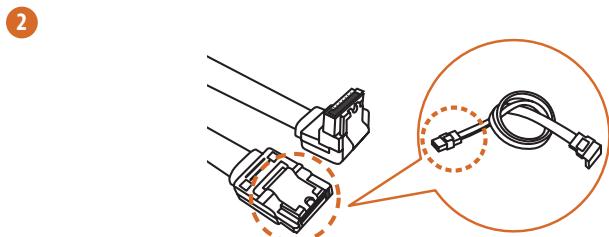
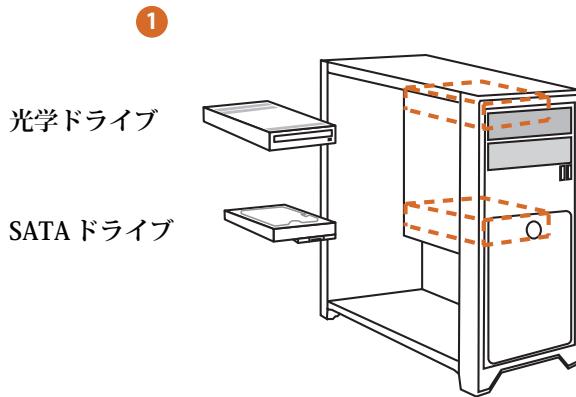


2.6 マザーボードを取り付ける



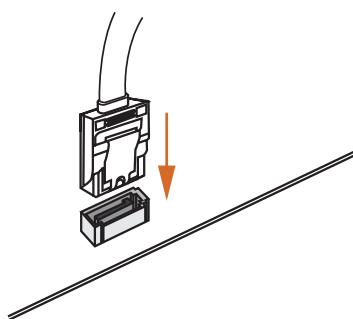
日本語

2.7 SATA ドライブを取り付ける

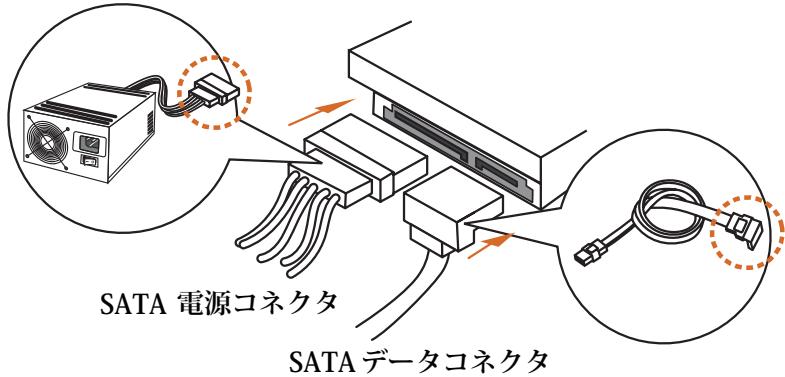


SATA データケーブル

3

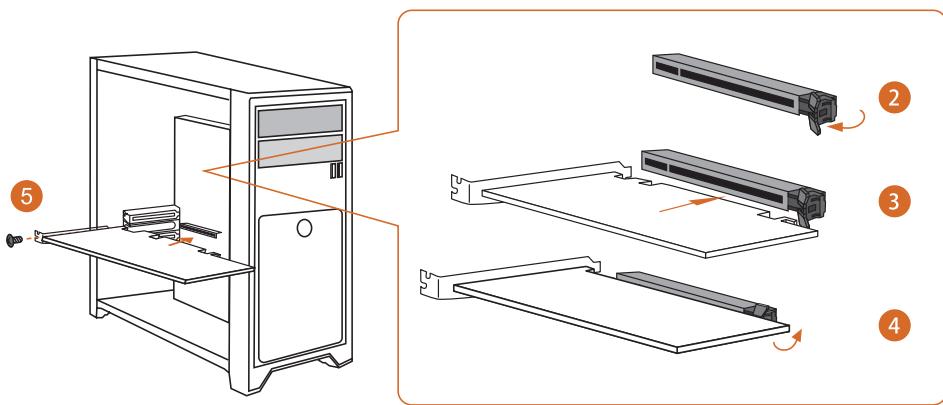
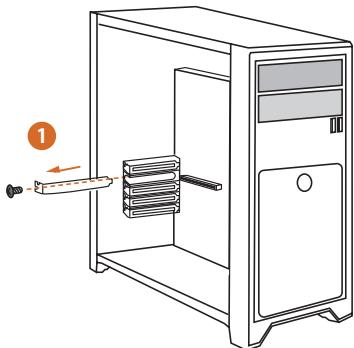


4



2.8 グラフィックスカードを取り付ける

日本語



このマザーボードには 1 つの PCI Express スロットが装備されています。



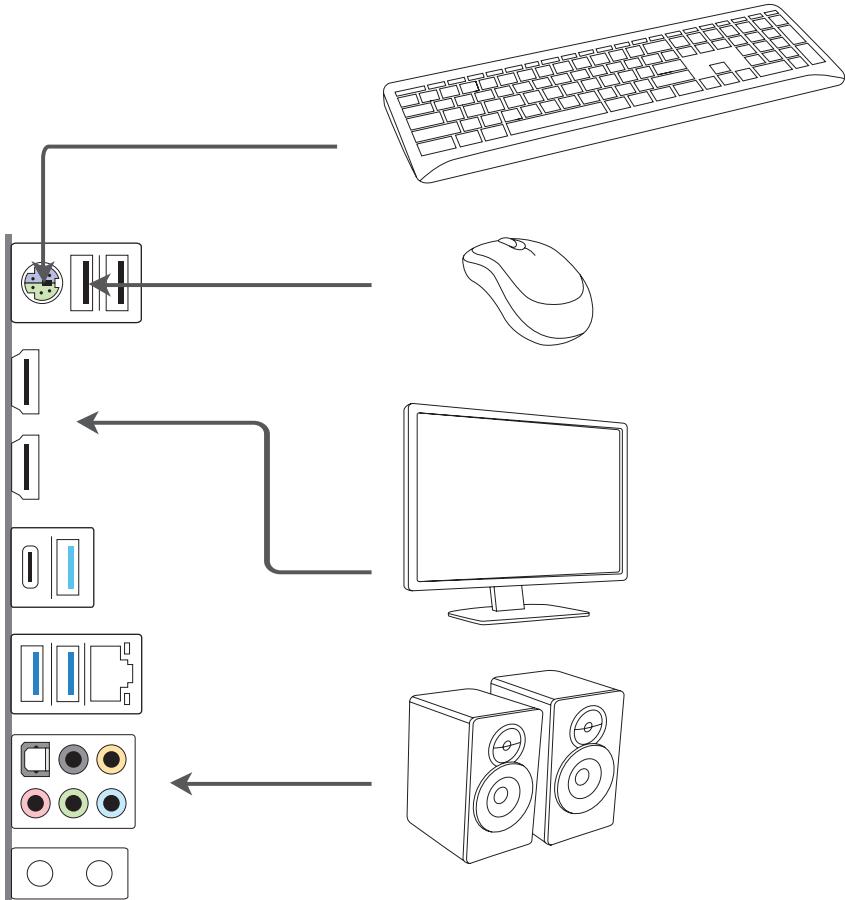
拡張カードを取り付ける前に、電源供給が切断されていること、または、電源コードが取り外されていることを確認してください。取り付け作業を始める前に、拡張カードに添付されている文書を読んで、カード用に必要なハードウェア設定を行ってください。

PCIe スロット：

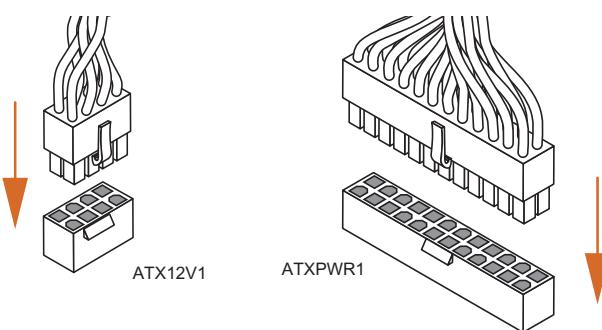
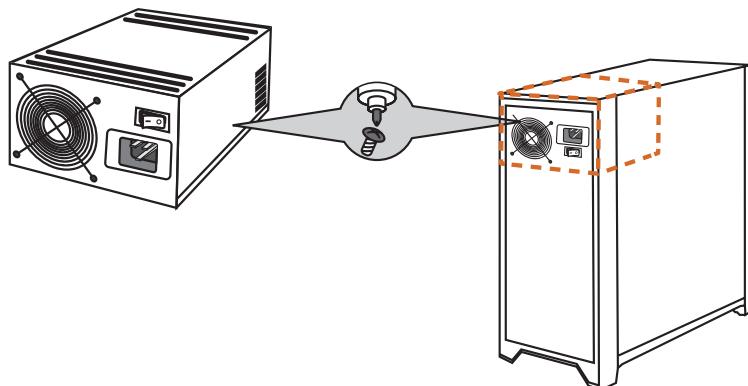
PCIE1 (PCIe 3.0 x16 スロット) は PCI Express x16 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。*

* A シリーズ APU を取り付けると PCIE1 は 8 倍モードにダウングレードします。

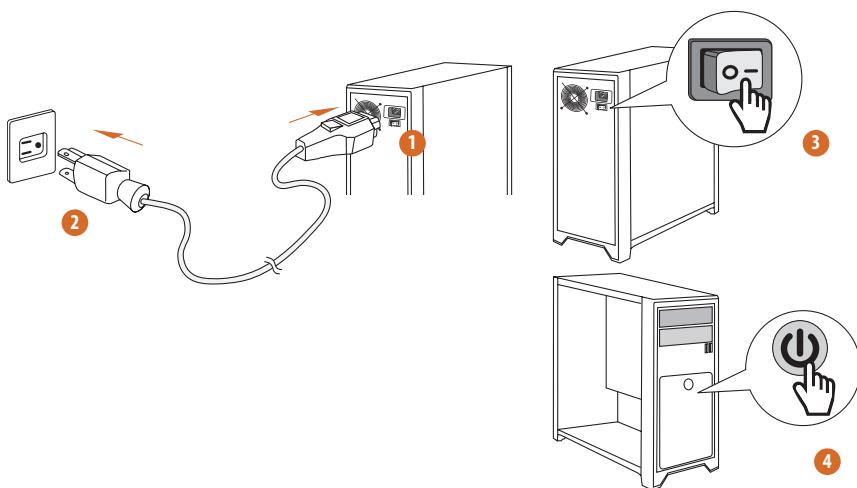
2.9 周辺機器を接続する



2.10 電源コネクタを接続する

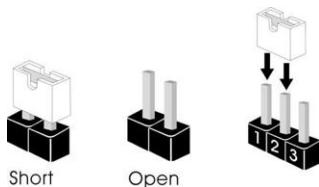


2.11 電源オン



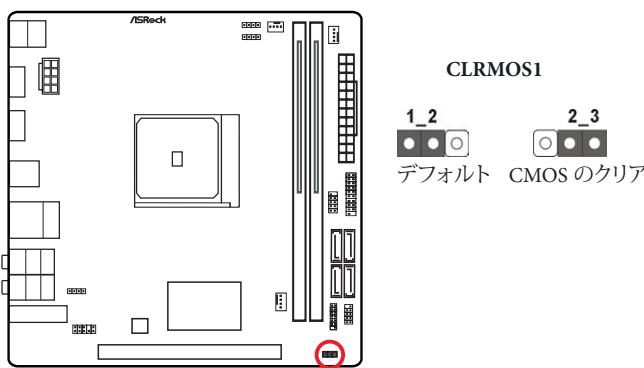
2.12 ジャンパー設定

このイラストは、ジャンパーの設定方法を示しています。ジャンパー・キャップがピンに被さっていると、ジャンパーは「ショート」です。ジャンパー・キャップがピンに被さっていない場合には、ジャンパーは「オープン」です。この図は3ピンのジャンパーを表し、ジャンパー・キャップがピン1とピン2に被さっているとき、これらのピンは「ショート」です。



クリア CMOS ジャンパー (CLRMOS1) (p.6, No. 16 参照)

CLRMOS1 を使って CMOS 内のデータをクリアできます。クリアして、デフォルト設定にシステムパラメーターをリセットするには、コンピューターの電源を切り、電源から電源コードを抜いてください。15 秒待ってから、ジャンパー・キャップを使って CLRMOS1 のピン2とピン3を5秒間ショートします。ただし、BIOS をアップデートした直後に、CMOS をクリアしないでください。BIOS をアップデート後、CMOS をクリアする必要があれば、最初にシステムを起動し、それから CMOS クリアアクションを行う前にシャットダウンしてください。パスワード、日付、時間、ユーザーのデフォルトプロファイルは、CMOS の電池を取り外した場合にのみ、消去されることにご注意ください。



2.13 オンボードのヘッダーとコネクター

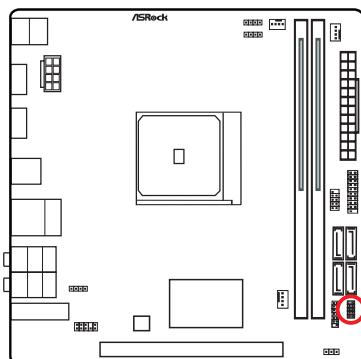


オンボードヘッダーとコネクターはジャンパーではありません。これらヘッダーとコネクターにはジャンパーキャップを被せないでください。ヘッダーおよびコネクターにジャンパーキャップを被せると、マザーボードに物理損傷が起こることがあります。

システムパネルヘッダー

(9ピン PANEL1) (p.6, No. 14 参照)

電源スイッチを接続し、スイッチをリセットし、下記のピン割り当てに従って、シャーシのシステムステータス表示ランプをこのヘッダーにセットします。ケーブルを接続するときには、ピンの+と-に気をつけてください。



パネル 1

GND	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PWRBTN#	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PLED-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PLED+	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1



PWRBTN(電源スイッチ):

シャーシ前面パネルの電源スイッチに接続してください。電源スイッチを使用して、システムをオフにする方法を設定できます。

RESET(リセットスイッチ):

シャーシ前面パネルのリセットスイッチに接続してください。コンピューターがフリーズしたり、通常の再起動を実行できない場合には、リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動します。

PLED(システム電源 LED):

シャーシ前面パネルの電源ステータスインジケーターに接続してください。システム稼働中は、LED が点灯します。システムが S1/S3 スリープ状態の場合には、LED は点滅を続けます。システムが S4 スリープ状態または電源オフ(S5)のときには、LED はオフです。

HDLED(ハードドライブアクティビティ LED):

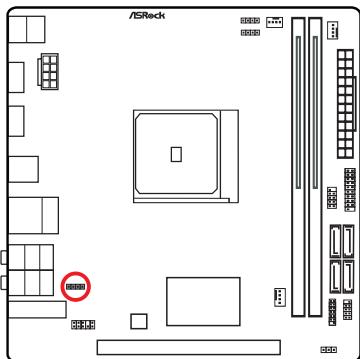
シャーシ前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続してください。ハードドライブのデータを読み取りまたは書き込み中に、LED はオンになります。

前面パネルデザインは、シャーシによって異なることがあります。前面パネルモジュールは、主に電源スイッチ、リセットスイッチ、電源 LED、ハードドライブアクティビティ LED、スピーカーなどから構成されます。シャーシの前面パネルモジュールとこのヘッダーを接続する場合には、配線の割り当てと、ピンの割り当てが正しく合致していることを確かめてください。

シャーシスピーカーヘッダー

(4 ピン SPEAKER1) (p.6, No. 19 参照)

シャーシスピーカーはこのヘッダーに接続してください。



SPEAKER1

DUMMY SPEAKER



シリアル ATA3 コネクター

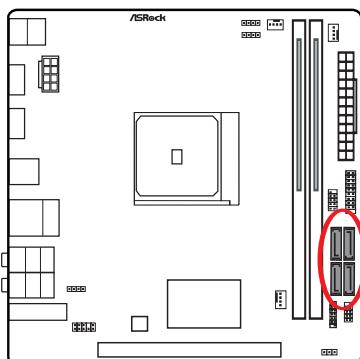
(SATA3_1) (p.6, No. 11 参照)

(SATA3_2) (p.6, No. 10 参照)

(SATA3_3) (p.6, No. 12 参照)

(SATA3_4) (p.6, No. 13 参照)

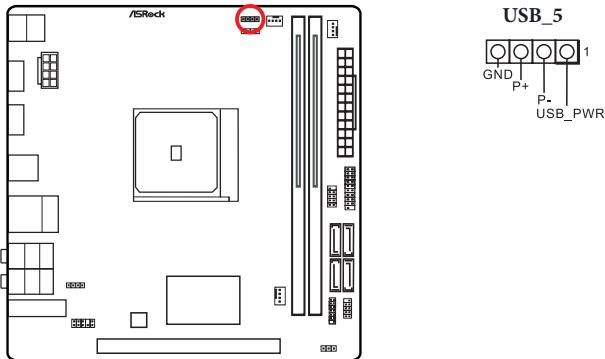
これら 4 つの SATA3 コネクターは、最高 6.0 Gb/ 秒のデータ転送速度で内部ストレージデバイス用の SATA データケーブルをサポートします。



SATA3_4 SATA3_2
SATA3_3 SATA3_1

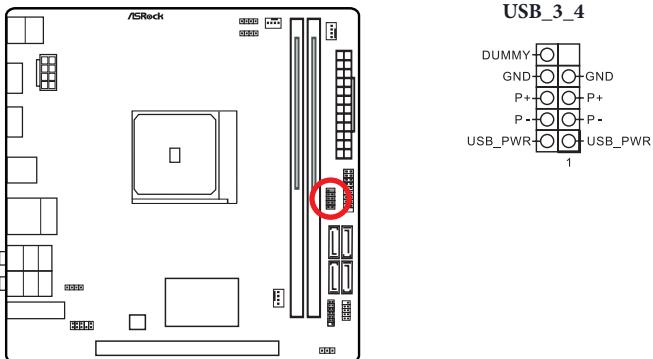
AMD LED ファン USB ヘッダー
(4 ピン USB_5) (p.6、No. 2 参照)

このヘッダーを使用して AMD SR3 ヒートシンク上の USB コネクタを接続します。



USB 2.0 ヘッダー
(9 ピン USB_3_4) (p.6、No. 8 参照)

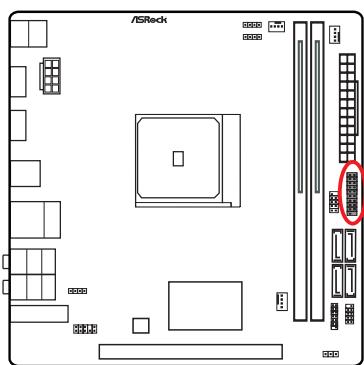
このマザーボードには 1 つのヘッダーが装備されています。各 USB 2.0 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。



USB 3.0 ヘッダー

(19 ピン USB3_3_4) (p.6、No. 9 参照)

このマザーボードには 1 つのヘッダーが装備されています。各 USB 3.0 ヘッダーは、2 つのポートをサポートできます。



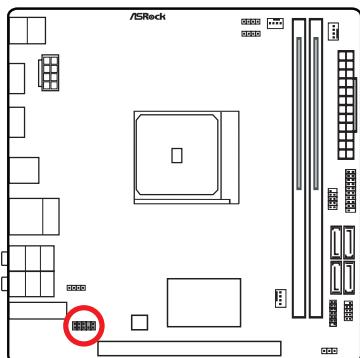
USB3_3_4

1	Dummy	IntA_PA_D+
	IntA_PB_D+	IntA_PA_D-
	IntA_PB_D-	GND
	GND	IntA_PA_SSTX+
	IntA_PB_SSTX+	IntA_PA_SSTX-
	IntA_PB_SSTX-	GND
	GND	IntA_PA_SSRX+
	IntA_PB_SSRX+	IntA_PA_SSRX-
	IntA_PB_SSRX-	Vbus
	Vbus	

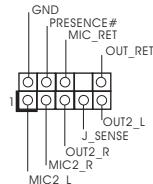
フロントパネルオーディオヘッダー

(9ピン HD_AUDIO1) (p.6, No. 18 参照)

このヘッダーは、フロントオーディオパネルにオーディオデバイスを接続するためのものです。



HD_AUDIO1

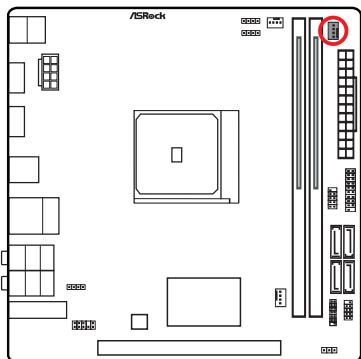
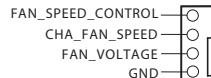


1. ハイディフィニションオーディオはジャックセンシングをサポートしていますが、正しく機能するためには、シャーシのパネルワイヤーがHDAをサポートしている必要があります。お使いのシステムを取り付けるには、当社のマニュアルおよびシャーシのマニュアルの指示に従ってください。
2. AC'97オーディオパネルを使用する場合には、次のステップで、前面パネルオーディオヘッダーに取り付けてください。
 - A. Mic_IN (MIC) を MIC2_L に接続します。
 - B. Audio_R (RIN) を OUT2_R に、Audio_L (LIN) を OUT2_L に接続します。
 - C. アース (GND) をアース (GND) に接続します。
 - D. MIC_RET と OUT_RET は、HD オーディオパネル専用です。AC'97 オーディオパネルではこれらを接続する必要はありません。
 - E. フロントマイクを有効にするには、Realtek コントロールパネルの「FrontMic」タブで、「録音音量」を調整してください。

シャーシファンコネクター

(4 ピン CHA_FAN2) (p.6, No. 6 参照)

ファンケーブルはファンコネクターに接続し、黒線とアースピンを合わせてください。

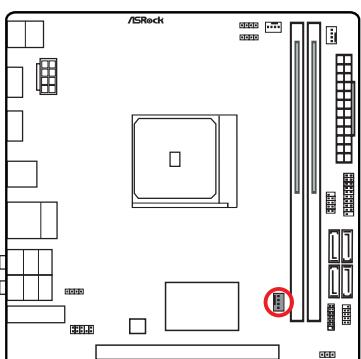
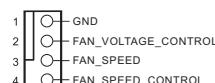
**CHA_FAN2**

日本語

シャーシ(オプション)/ ウォーターポンプファンコネクタ

(4 ピン CHA_FAN/W_PUMP) (p.6, No. 17 参照)

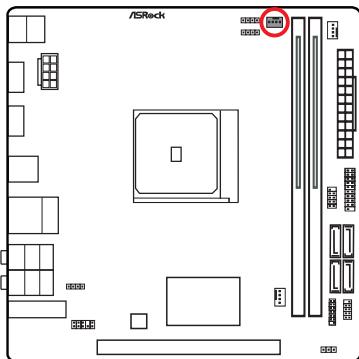
このマザーボードには 4 ピン水冷却シャーシガボンクタ用に装備されています。3 ピンのシャーシ水冷却ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。

**CHA_FAN/W_PUMP**

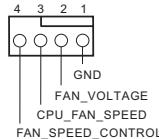
CPU ファンコネクタ

(4 ピン CPU_FAN1) (p.6、No. 4 参照)

このマザーボードは 4 ピン CPU ファン(静音ファン)コネクターが装備されています。3 ピンの CPU ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



CPU_FAN1

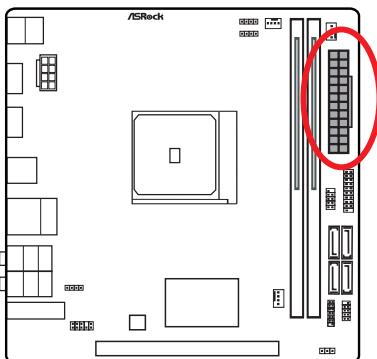


ATX 電源コネクタ

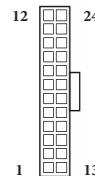
(24 ピン ATXPWR1) (p.6、No. 7 参照)

このマザーボードは 24 ピン ATX 電源コネクターが装備されています。

20 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 13 番に合わせて接続してください。



ATXPWR1

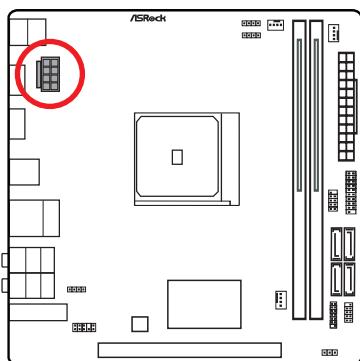
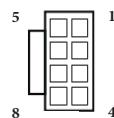


ATX 12V 電源コネクター

(8 ピン ATX12V1) (p.6、No. 1 参照)

このマザーボードは 8 ピン ATX12V 電源コネクターが装備されています。

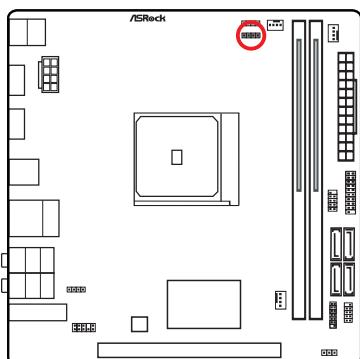
4 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 5 番に合わせて接続してください。

**ATX12V1****AMD ファン LED ヘッダー**

(4 ピン AMD_FAN_LED1) (p.6, No. 3 参照)

AMD ファン LED ヘッダーを使用して AMD ヒートシンクに付属している RGB LED 延長ケーブルを接続します。ケーブルを接続すれば、ユーザーはさまざまな LED ライティング効果を選択できます。

注意：ファン LED ケーブルは間違った方向に取り付けないでください。間違った方向に取り付けるとケーブルが破損することがあります。

**AMD_FAN_LED1**

第3章 ソフトウェアとユーティリティの操作

3.1 ドライバをインストールする

マザーボードに付属しているサポート DVD には、必要なドライバ、および、マザーボードの機能を強化する便利なユーティリティが含まれています。

サポート DVD を実行する

サポート DVD を使用するため、CD を DVD/BD ドライブに挿入します。コンピュータで「AUTORUN(自動実行)」が有効になっている場合は、CD がメインメニューを自動的に表示します。メインメニューが自動的に表示されない場合は、サポート DVD 内のファイル「ASRSETUP.EXE」をダブルクリックしてメニューを表示します。

ドライバメニュー

システムと互換性のあるドライバが自動的に検出されて、サポート DVD ドライバページに一覧表示されます。Install All(すべてインストールする)をクリックするか、または、上から下への順番で必要なドライバをインストールしてください。このようにインストールすることで、ドライバが正しく動作するようにします。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、マザーボードが対応するアプリケーションソフトウェアが表示されます。特定の項目をクリックして、インストールウィザードに従ってインストールします。



Windows 7との互換性を向上させるために、Microsoft が提供する次のホットfix ファイルをダウンロードしてインストールしてください。
[KB2720599] : <http://support.microsoft.com/kb/2720599/en-us>

3.2 F-Stream

F-Stream は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを有し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されました。

3.2.1 F-Stream をインストールする

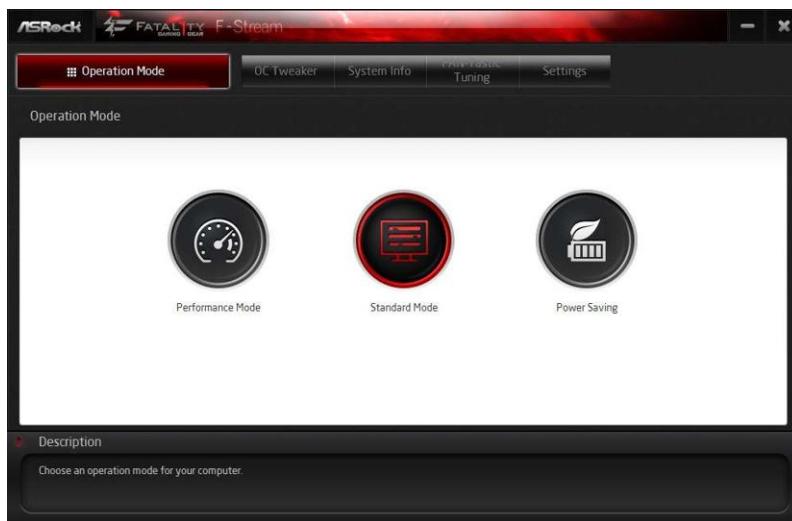
F-Stream を ASRock Live Update & APP Shop(ASRock ライブ更新と APP ショップ)からダウンロードできます。インストールすると、デスクトップに「F-Stream」アイコンが表示されます。「F-Stream」アイコンをダブルクリックすると、F-Stream メインメニューがポップアップ表示されます。

3.2.2 F-Stream を使用する

F-Stream メインメニューには 5 つのセクションがあります：Operation Mode(操作モード)、OC Tweaker(OC 調整)、System Info(システム情報)、FAN-Tastic Tuning(FAN-Tastic チューニング)、Settings(設定)。

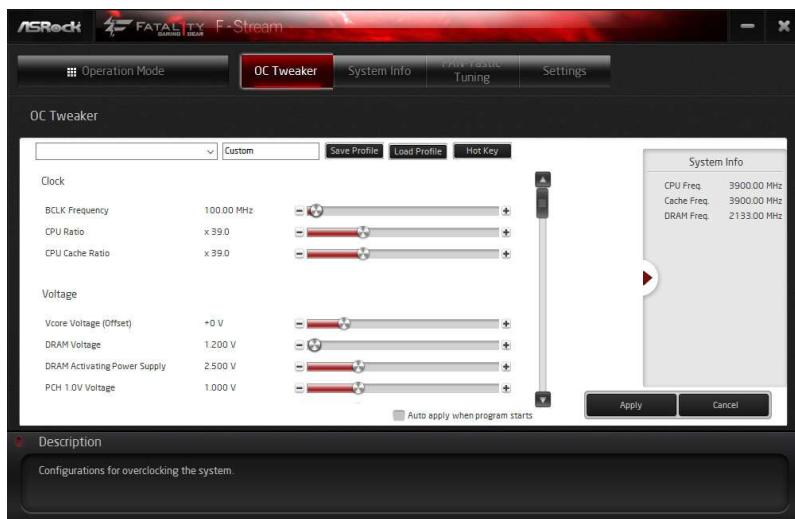
Operation Mode (操作モード)

コンピューターの操作モードを選択します。



OC Tweaker (OC 調整)

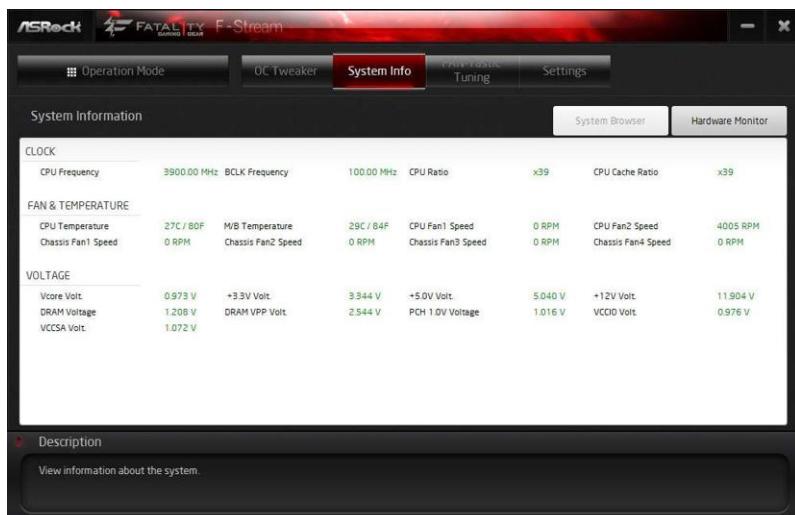
システムのオーバークロック設定。



System Info (システム情報)

システムに関する情報を表示します。

* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。



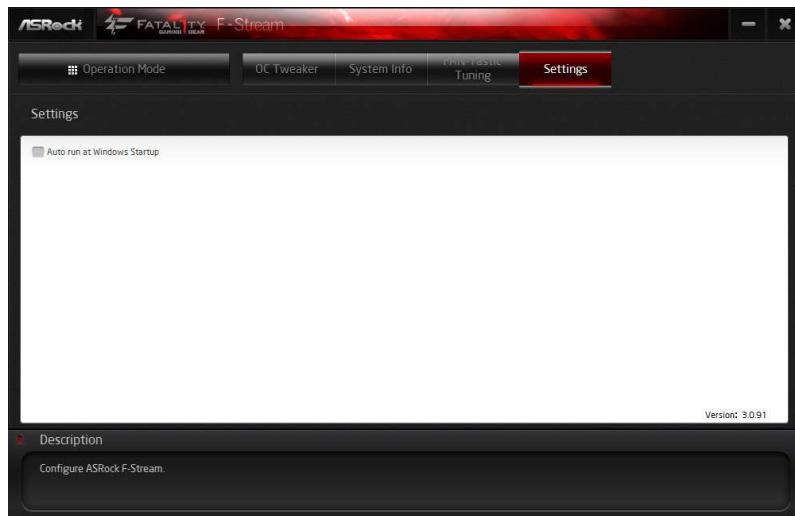
FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。



Settings (設定)

ASRock F-Stream を設定します。Windows オペレーションシステムを起動する際に F-Stream を始動したい場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行)」をクリックして選択します。



3.3 ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)

ASRock ライブ更新と APP ショップは、ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。USB キー、XFast LAN、XFast RAM などのさまざまなアプリケーションとサポートユーティリティを素早く簡単にインストールできます。ASRock APP ショップを使用すれば、数回クリックするだけで、システムを最適化して、マザーボードを最新の状態に維持できます。

デスクトップ上の  をダブルクリックして ASRock ライブ更新と APP ショップ ユーティリティにアクセスします。

*ASRock ライブ更新と APP ショップからアプリケーションをダウンロードするにはインターネットに接続している必要があります。

3.3.1 UI 概要



Category Panel(カテゴリパネル): カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに関係する情報が表示されます。

Information Panel(情報パネル): 中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに関係するタスクを実行できます。

Hot News(ホットニュース): ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

3.3.2 Apps(アプリ)

「Apps(アプリ)」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順1

インストールしたいアプリを検索します。



最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

Free - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free(無料)」と表示されます。

Installed - 緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

手順3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン  をクリックしてダウンロードを開始します。



日本語

手順4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed(インストール済み)」アイコンが表示されます。



アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン  をクリックします。

* アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version(新しいバージョン)」 のマークが表示されます。



手順1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

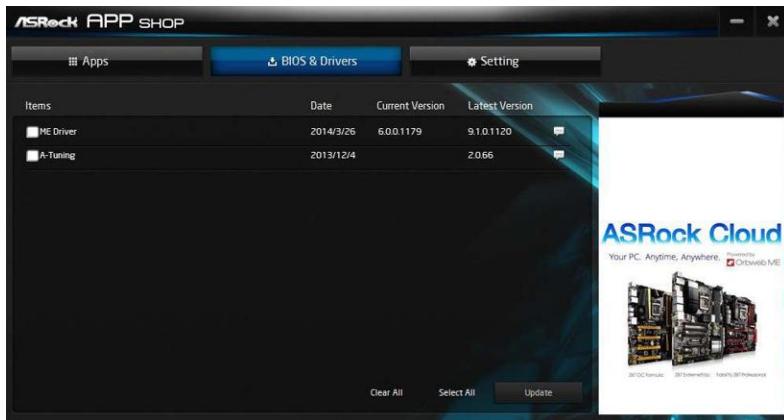
手順2

黄色色のアイコン をクリックしてアップグレードを開始します。

3.3.3 BIOS & Drivers (BIOS とドライバ)

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers(BIOS とドライバ)」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。速やかにすべて更新してください。



手順1

更新する前に項目情報を確認してください。💬 をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順2

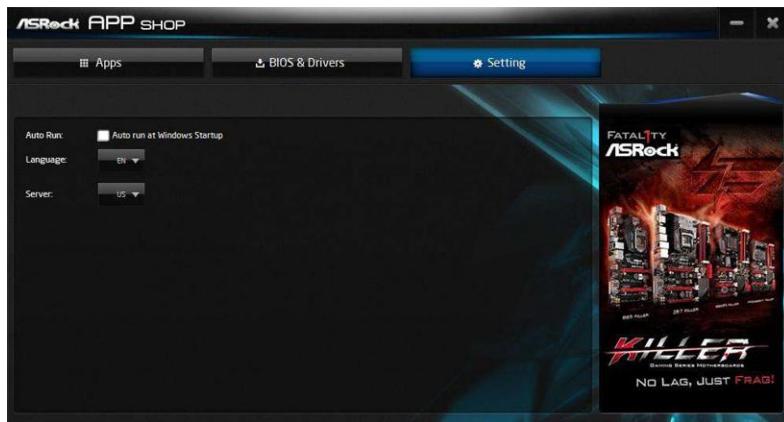
更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順3

「Update(更新)」をクリックして更新処理を開始します。

3.3.4 設定

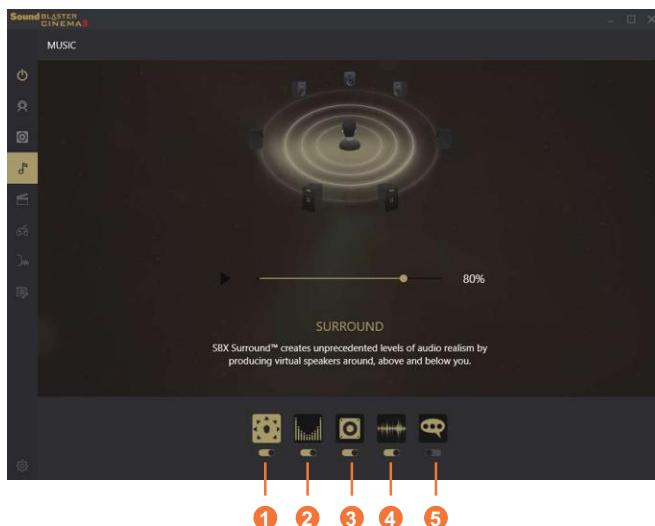
「Setting(設定)」ページで、言語を変更したり、サーバーの場所を選択したり、Windows起動時に ASRock ライブ更新と APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。



日本語

3.4 Creative SoundBlaster Cinema3

SoundBlasterTM Cinema3 には SBX Pro Studio テクノロジーが搭載されています。ライブパフォーマンスの臨場感、映画やレコーディングスタジオの優れたオーディオ体験を PC 上で実現するために設計されています。このユーティリティを使用して、オーディオ環境を次の 5 つのモードで簡単に強化できます : Headphones(ヘッドフォン)、Speakers(スピーカー)、Music(ミュージック)、Movie(ムービー)、Game(ゲーム)、Voice(ボイス)、および、Custom(カスタム)。



SoundBlasterTM Cinema3 には次の 5 つの機能があります :

番号	機能	説明
1	Surround	周囲と上下に仮想スピーカーを作り出して、前代未聞の水準のオーディオをリアルに実現します。
2	Crystalizer	音のディテールをすべて聞き取れるようにして、アーティストが意図するサウンドそのままの音楽を生み出します。
3	Bass	低周波域のトーンを拡張して低音を強化します。
4	Smart Volume	オーディオ再生の音量を自動的に調整して、急激な音量レベルの変化を最小限に抑えます。
5	Dialog Plus	音楽や映画の音声部分を強化して、大変クリアなボーカルレンジをお届けします。

3.5 ASRock RGB LED ユーティリティ

ASRock RGB LED ユーティリティで RGB LED の色を調整できます。ASRock Live Update & APP Shop からこのユーティリティをダウンロードして、PC スタイルの色をお好みに合わせて調整できます。



タブをドラッグしてお好みに合わせてカスタマイズします。

ドロップダウンメニューから RGB LED 照明効果を選択します。

第4章 UEFI セットアップユーティリティ

4.1 はじめに

このセクションでは、UEFI セットアップ ユーティリティを使用して、システムを構成する方法を説明します。UEFI セットアップ ユーティリティは、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または を押すことによって起動できます。ユーティリティーを起動しなければ、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップ ユーティリティを開始するには、<Ctrl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムをシャットダウンした後、再度電源を入れても、ユーティリティーを起動することができます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参考のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

4.1.1 UEFI メニューバー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main (メイン) システムの時間 / 日付情報の設定

**OC Tweaker
(OC 調整)** オーバークロック設定

**Advanced
(詳細設定)** システムの詳細設定

Tool (ツール) 便利なツール

**H/W Monitor
(H/W モニター)** 現在のハードウェアステータスを表示

**Security
(セキュリティ)** セキュリティ設定

Boot (ブート) ブート設定およびブートの優先順位の設定

Exit (終了) 現在の画面または UEFI セットアップ ユーティリティを終了

4.1.2 ナビゲーションキー

メニューバーのカテゴリーを選択するには、<←→>キーまたは<→>キーを使用します。カーソルを上下に動かしアイテムを選択するには、<↑>キーまたは<↓>キーを使用し、<Enter>を押してサブ画面に移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップ ユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読み込み
<F10>	変更を保存して、セットアップ ユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

4.2 Main (メイン) 画面

UEFI セットアップ ユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。



4.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。



UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

Voltage Configuration (電圧設定)

DRAM Voltage (DRAM 電圧)

この項目を使用して DRAM Voltage(DRAM 電圧)を選択します。デフォルトでは [Auto(自動)] です。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルトの DRAM 電圧設定を適用します。

2.50V 電圧

この項目を使用して 2.50V_PROM Voltage(2.50V_PROM 電圧)を選択します。デフォルトでは [Auto(自動)] です。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルトの 2.50V PROM 設定を適用します。

+1.8 Voltage (+1.8 電圧)

+1.8V 電圧を設定します。

1.05V 電圧

1.05V PROM の電圧を設定します。

[Auto(自動)] この項目を選択して、デフォルトの 1.05V 電圧設定を適用します。

Save User Default (ユーザー定義の保存)

設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default (ユーザー定義の読み込み)

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

Save User UEFI Setup Profile to Disk(ユーザー UEFI セットアップポート フォリオをディスクに保存)

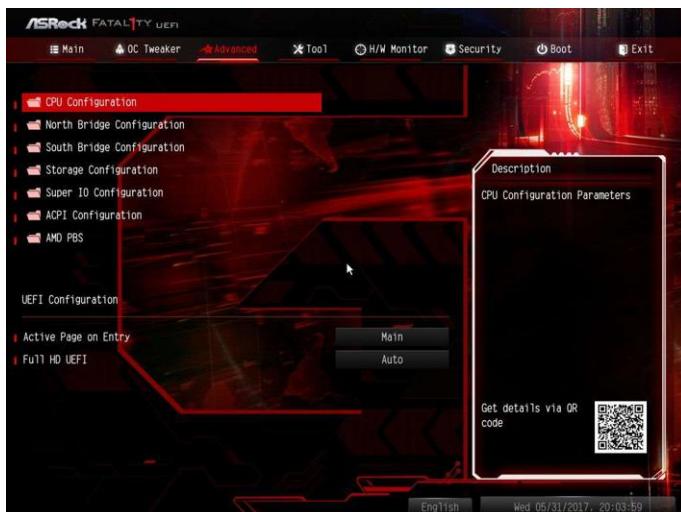
現在の UEFI 設定をユーザープロファイルとしてディスクに保存できます。

Load User UEFI Setup Profile from Disk(ユーザー UEFI セットアップポート フォリオをディスクから読み込む)

また、前に保存したプロファイルをディスクから読み込むこともできます。

4.4 Advanced (詳細) 画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます:CPU Configuration (CPU 設定)、North Bridge Configuration (ノースブリッジ設定)、South Bridge Configuration (サウスブリッジ設定)、Storage Configuration (ストレージ設定)、Super IO Configuration (スーパー IO 設定)、ACPI Configuration (ACPI 設定)、および AMD PBS。



このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

UEFI Configuration (UEFI 設定)

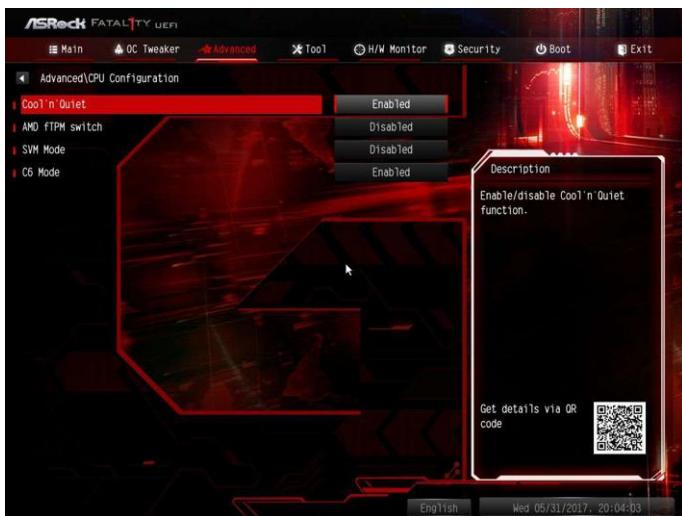
Active Page on Entry (開始時のアクティブページ)

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトページを選択します。

Full HD UEFI (フル HD UEFI)

「Auto(自動)」を選択すると解像度は 1920 x 1080 に設定されます。(ご使用のモニターがフル HD に対応している場合)もしモニターがフル HD 非対応であれば、解像度は 1024 x 768 に設定されます。「Disable(無効)」に設定すると、モニタの解像度は 1024 x 768 に設定されます。

4.4.1 CPU Configuration (CPU 設定)



Cool'n'Quiet

この項目を使用して、AMD の Cool 'n' QuietTM テクノロジーを有効または無効にします。デフォルトでは [Enabled(有効)] です。

[Enabled(有効)]

Windows[®] OS をインストールして、この機能を有効にしたい場合は、この項目を [Enabled(有効)] に設定してください。この機能を有効にすると、CPU 電圧とメモリ周波数が低下して、メモリモジュールまたは電源供給によっては安定性または互換性の問題が発生することがあります。

[Disabled(無効)]

上記の問題が発生する場合は、この項目を [Disabled(無効)] に設定してください。

AMD fTPM Switch (AMD fTPM スイッチ)

この項目を使用して AMD CPU fTPM を有効または無効にします。.

SVM モード

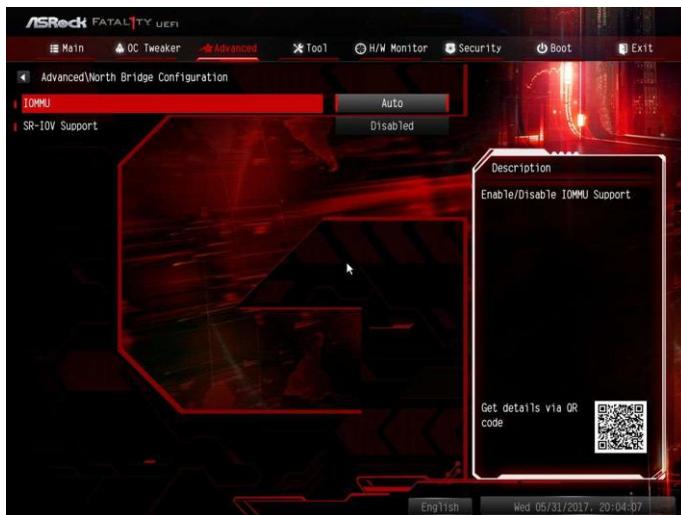
このオプションを [Enabled(有効)] に設定すると、VMM(仮想マシンアーキテクチャ)は AMD-V が提供する追加ハードウェア容量を利用できます。デフォルト値は [Enabled(有効)] です。

設定オプション : [Enabled(有効)] と [Disabled(無効)]。

C6 モード

この項目を使用して Core C6 モードを有効または無効にします。デフォルトでは [Enabled(有効)] です。

4.4.2 North Bridge Configuration(ノースブリッジ設定)



IOMMU

この項目を使用して IOMMU を有効または無効にします。この機能のデフォルト値は [Disabled(無効)] です。

Share Memory (共有メモリ)

システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサーに割当てるメモリのサイズを設定します。

4.4.3 South Bridge Configuration (サウスブリッジ設定)



Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵の HD オーディオをオン / オフします。[Auto (自動)] に設定すると、内蔵の HD オーディオは有効化され、サウンドカードがインストールされたときにのみ自動的に無効にされます。

Front Panel (フロントパネル)

フロントパネルの HD オーディオをオン / オフします。

Deep Sleep (デイープスリープ)

コンピューターがシャットダウンされたときの節電を目的としたディープスリープを設定します。

Restore on AC/Power Loss (AC/ 電源損失で復元)

停電後の電力状態を選択します。

[Power Off(電源オフ)]

この項目を選択すると、電力が回復しても電源はオフのままになります。

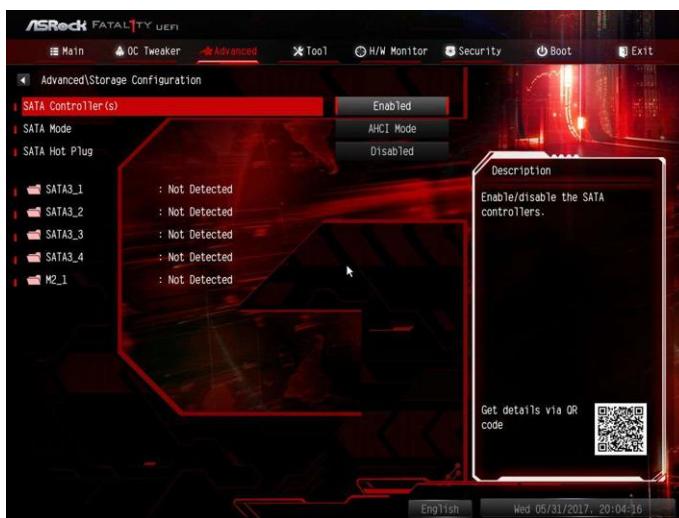
[Power On(電源オン)]

この項目を選択すると、電力が回復するとシステムが起動し始めます。

WAN Radio (WAN ラジオ)

WiFi モジュールの接続を有効または無効にします。

4.4.4 Storage Configuration (ストレージ設定)



SATA Controller(s) (SATA コントローラー)

SATA コントローラを有効 / 無効にします。

SATA モード

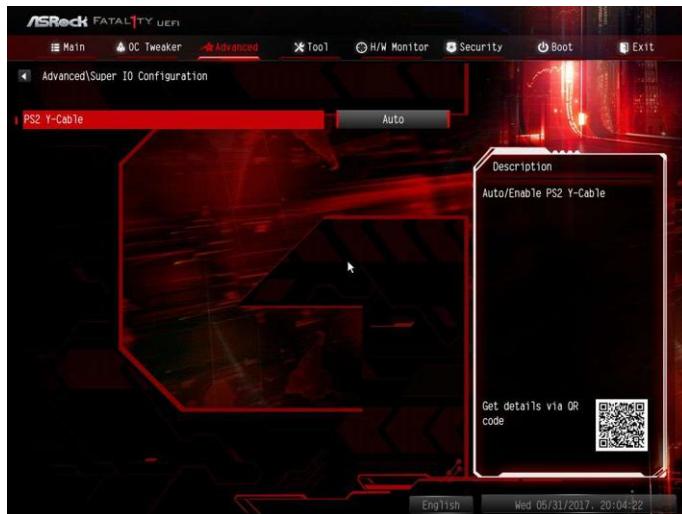
[AHCI] 性能を向上させる新しい機能に対応します。

[RAID] 複数のディスクドライブを論理ユニットに組み合わせます。

SATA ホットプラグ

SATA ホットプラグを有効 / 無効にします。

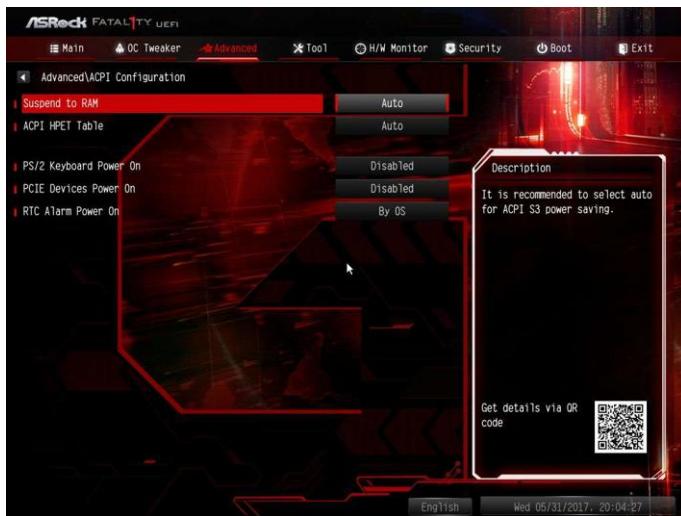
4.4.5 Super IO Configuration (スーパー IO 設定)



PS2 Y-Cable (PS2 Y ケーブル)

PS2 Y ケーブルを有効にするか、またはこのオプションを Auto(自動)に設定します。

4.4.6 ACPI Configuration (ACPI 設定)



Suspend to RAM (RAMへのサスペンド)

[Auto] (自動)として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

ACPI HPET Table (ACPI HPET 表)

パフォーマンスを向上し、WHQL の認定を受けるため、[High Precision Event Timer] (高精度イベントタイマー) を有効にします。

PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボードによる電源オン)

PS/2 キーボードでシステムを起動できるようになります。

[Disabled(無効)]

この項目を選択して、PS/2 Keyboard Power On(PS/2 キーボード電源オン)機能を無効にします。

[Any Key(いずれかのキー)]

この項目を選択すると、PS/2 キーボード上のいずれかのキーをクリックしてシステムを再起動できます。

PCIE Devices Power On (PCIE デバイス電源オン)

PCIE デバイスでシステムをウェイクアップできます。また、LAN 上でのウェイクアップを有効にできます。

RTC Alarm Power On (RTC アラームによる電源オン)

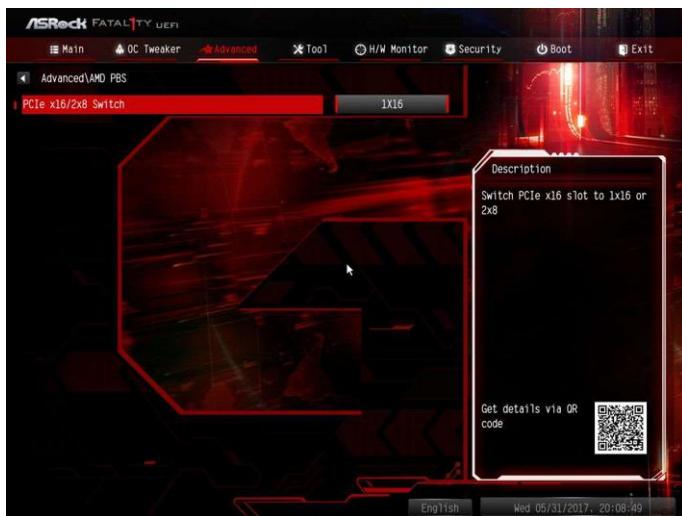
リアルタイム クロックのアラームでシステムを起動できるようになります。

[Disabled(無効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On (RTC アラーム電源オン)機能を無効にします。

[Enabled(有効)] この項目を選択して、RTC Alarm Power On (RTC アラーム電源オン)機能を有効にします。

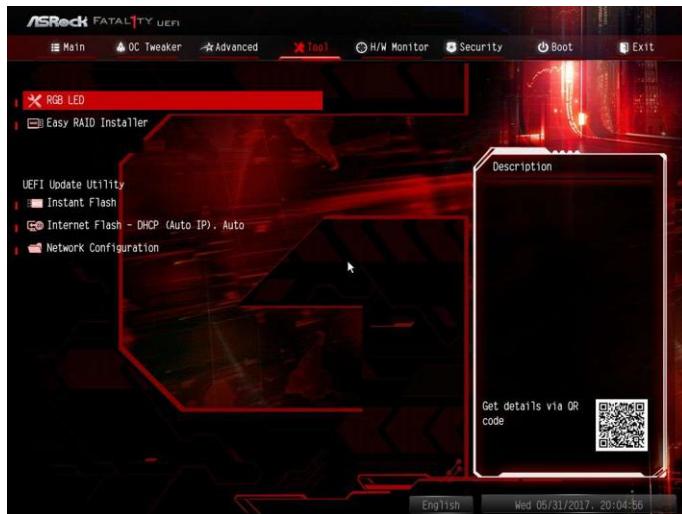
[By OS(OS で)] この項目を選択して、オペレーティングシステムで取り扱うようにします。

4.4.7 AMD PBS



PCIe x16/2x8 スイッチ (Ryzen シリーズ CPU (Summit Ridge) 向け)
PCIe x16 スロットを 1x16 または 2x8 に切り替えます。

4.5 Tools (ツール)



RGB LED

ASRock RGB LED を使用すれば RGB LED の色をお好みに合わせて調整できます。

Easy RAID Installer (簡単 RAID インストーラー)

該当する CD から USB ストレージ デバイスへの RAID ドライバーのコピーが簡単にできます。ドライバーをコピーしたら、モードを SATA から RAID へ変更すると、RAID モードでのオペレーティング システムのインストールが開始できます。

Instant Flash (インスタント フラッシュ)

UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、[Instant Flash (インスタント フラッシュ)] を実行すると、UEFI が更新されます。

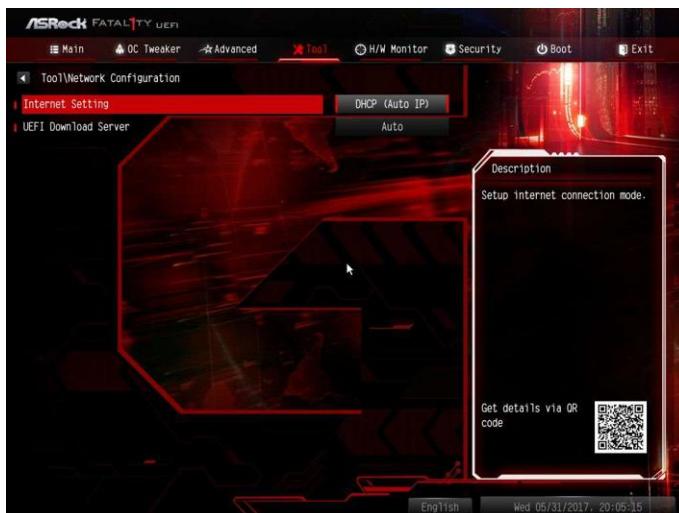
Internet Flash (インターネットフラッシュ) - DHCP (自動 IP)、 AUTO (自動)

ASRock の [Internet Flash (インターネット フラッシュ)] は、サーバーから最新の UEFI フームウェアをダウンロードして更新します。[Internet Flash (インターネット フラッシュ)] を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

*BIOS のバックアップとリカバリー用に、この機能を使用する前に、USB ペンドライブを差し込むことをお勧めします。

Network Configuration (ネットワーク設定)

[Internet Flash (インターネット フラッシュ)] で必要なインターネット接続を設定します。



Internet Setting (インターネット 設定)

セットアップ ユーティリティでのサウンドエフェクトをオン / オフします。

UEFI Download Server (UEFI ダウンロード サーバー)

UEFI フームウェアをダウンロードするサーバーを選択します。

4.6 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェアヘルスイベント監視) 画面

このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。



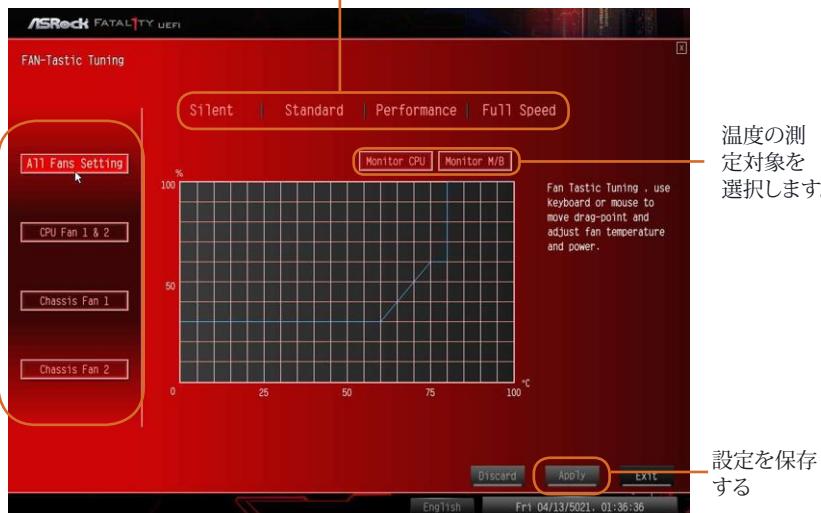
Fan Tuning (ファン・チューニング)

チューニング処理を実行して、ファンの最小デューティサイクルを自動検出します。

Fan-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

ファンモードを選択するか、または、プロファイルをカスタマイズします。



CPU Fan 1 Setting (CPU ファン 1 設定)

CPU ファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当ることができます。

設定オプション :

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)]
[Performance Mode(パフォーマンスマード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 1 Setting (シャーシファン 1 設定)

シャーシファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当ることができます。

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)]
[Performance Mode(パフォーマンスマード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 1 Temp Source (シャーシファン 1 温度ソース)

シャーシファン 1 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B(マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 2 Setting (シャーシファン 22 設定)

シャーシファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当ることができます。

設定オプション :

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)]
[Performance Mode(パフォーマンスマード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 2 Temp Source (シャーシファン 2 温度ソース)

シャーシファン 2 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B(マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 3 Setting (シャーシファン 3 設定)

シャーシファン 3 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当ることができます。

設定オプション :

[Customize(カスタマイズ)] [Silent Mode(サイレントモード)] [Standard Mode(標準モード)]
[Performance Mode(パフォーマンスマード)] [Full Speed(最高速度)]

Chassis Fan 3 Temp Source (シャーシファン 3 温度ソース)

シャーシファン 3 の温度の測定対象を選択します。

[Monitor CPU(CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B(マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Over Temperature Protection (過熱保護)

有効にすると、マザーボードが過熱したとき、システムは自動的にシャットダウンします。

4.7 Security (セキュリティ) 画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザー パスワードを消去することもできます。



Supervisor Password (スーパーバイザー パスワード)

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password (ユーザー パスワード)

ユーザー アカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot (セキュア ブート)

Secure Boot(セキュアブート)のサポートを有効にします。

4.8 Boot (ブート) 画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



Fast Boot (高速ブート)

コンピューターのブート時間を最小化します。高速モードでは、USB ストレージ デバイスからブートすることはできません。

Boot From Onboard LAN (内蔵 LAN からのブート)

内蔵の LAN でシステムを起動できるようになります。

Setup Prompt Timeout (設定プロンプトのタイムアウト)

ホットキー設定のための待機時間を秒数で指定します。

Bootup Num-Lock (起動時の数値ロック)

起動時にテンキーに数値ロックをかけるかを選択します。

Boot Beep (ブートビープ音)

起動時にビープ音をならすかを選択します。ブザーが必要になります。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

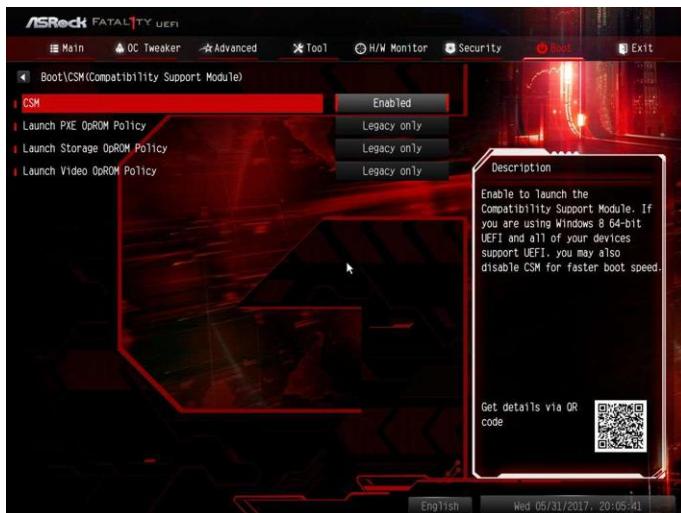
有効にすると、ブートロゴが表示され、無効にすると通常の POST メッセージが表示されます。

AddOn ROM Display (アドオン ROM 表示)

有効にすると、アドオン ROM メッセージが表示されます。また [Full Screen Logo (全画面ロゴ)] が有効の場合は、アドオン ROM の設定もできます。ブート速度を重視する場合は、無効にします。

日本語

CSM: Compatibility Support Module (CSM:互換性サポート モジュール)



CSM

[Compatibility Support Module (互換性サポート モジュール)] を起動します。
WHCK テストを実行している場合以外は、無効にしないでください。

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応する
ものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応
するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と
UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応する
ものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応
するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と
UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Video OpROM Policy (ビデオ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only(UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応する
ものだけを実行します。

[Legacy only(レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応
するものだけを実行します。

[Do not launch(開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と
UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

4.9 Exit (終了)画面



Save Changes and Exit (変更を保存して終了)

このオプションを選択すると、「Save configuration changes and exit setup? (設定の変更を保存して設定を終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存してUEFIセットアップユーティリティを終了するには、[OK]を選択します。

Discard Changes and Exit (変更を保存しないで終了)

このオプションを選択すると、「Discard changes and exit setup? (設定の変更を保存しないで終了しますか?)」というメッセージが表示されます。変更を保存することなく、UEFIセットアップユーティリティを終了するには、[OK]を選択します。

Discard Changes (変更を破棄)

このオプションを選択すると、「Discard changes? (変更を破棄しますか?)」というメッセージが表示されます。すべての変更を破棄するには、[OK]を選択します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読み込み)

すべてのオプションで既定値を読み込みます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device (ファイルシステム デバイスから EFI シェルを起動)

ルートディレクトリへ shellx64.efi をコピーして、EFI シェルを起動します。

連絡先情報

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト <http://www.asrock.com> をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的なご質問がある場合は、<http://www.asrock.com/support/tsd.asp> でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

2F, No.37, Sec.2, Jhongyang S. Rd., Beitou District,

Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

ASRock EUROPE B.V.

Bijsterhuizen 11-11

6546 AR Nijmegen

The Netherlands

Phone:+31-24-345-44-33

Fax:+31-24-345-44-38

ASRock America, Inc.

13848 Magnolia Ave, Chino, CA91710

U.S.A.

Phone:+1-909-590-8308

Fax:+1-909-590-1026



EC-Declaration of Conformity

For the following equipment:

Motherboard

(Product Name)

Fatal1ty AB350 Gaming-ITX/ac Series / ASRock

(Model Designation / Trade Name)

ASRock Incorporation

(Manufacturer Name)

2F, No.37, Sec. 2, Jhongyang S. Rd., Beitou District, Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

(Manufacturer Address)

is herewith confirmed to comply with the requirements set out in the Council Directive on the Approximation of the Laws of the Member States relating to Electromagnetic Compatibility Directive (2004/108/EC) and Safety Directive (2006/95/EC), the following standards are applied:

- EN 55022: 2006+A1:2007
- EN 61000-3-2: 2009
- EN 61000-3-3: 2008
- EN 55024: 1998 + A1:2001 + A2:2003
 - IEC 61000-4-2: 2008;
 - IEC 61000-4-3: 2010; IEC 61000-4-4: 2010;
 - IEC 61000-4-5: 2005; IEC 61000-4-6: 2008;
 - IEC 61000-4-8: 2009; IEC 61000-4-11: 2004;
- EN 60950-1: 2005 + A1:2009
 - IEC 60950-1: 2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011

The following manufacturer / importer or authorized representative established within the EUT is responsible for this declaration:

ASRock EUROPE B.V.

(Company Name)

Bijsterhuizen 1111 6546 AR Nijmegen The Netherlands

(Company Address)

Person responsible for making this declaration:

(Name, Surname)

A.V.P

(Position / Title)

July 7, 2017

(Date)